

教 育 課 程

(令和8(2026)年度の入学生適用)

カリキュラム編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与方針に掲げられた能力の獲得を効果的に実現するために、下記の方針に基づき教育課程を編成します。

1. 社会人として必要な知識、マインド、技能、コミュニケーションスキルを身につけるために、全学部の学生が履修する「全学共通科目」を設置します。

「全学共通科目」の履修によって、外国語能力、情報処理能力、論理的思考力、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力、一般教養等の修得を目指します。

2. 学部・学科における専門的知識を身につけるために「学部専門科目」を設置します。ここでは、段階的に専門性を高めた授業科目を配置します。

これらの履修によって、それぞれの学問の体系的な修得を目指します。

3. 知識教養の修得を目指した講義科目を配置するとともに、統合的な学習経験と創造的思考による判断力を養うために、演習・実習科目を配置します。

これらの履修によって、チームワークやリーダーシップ、コミュニケーションスキルを高める実践能力や深く多様な視点で物事を見抜き、現代社会を生き抜く力、問題解決力を養います。

4. 資格科目として「教職に関する科目」「図書館に関する科目」「司書教諭に関する科目」「博物館に関する科目」「社会調査士に関する科目」を設置します。

これらの履修によって、職業に結びつく能力を獲得し、社会に貢献します。

■ 文学部

前期課程においては、学問分野についての基礎的な知識と全体的な視野を学ぶ「総論」、後期課程においては、専門性を高めるために様々な対象や領域を取りあげて考える「各論」、またそれぞれの学問分野における個別のテーマに焦点を当てて探究する「特殊講義」、同時に人文学・文化表現学・コミュニケーション文化学に共通する専門科目として「文学部共通専門科目」を配置し、これらを学ぶ課程で、広く人間に関する学識や表現力を養います。

また、作品制作、文章表現、実験等の技能・知識の修得のために、前期課程においては「基礎実習」「実習」「基礎演習」、後期課程においては「特殊演習」「演習」を学びます。

あわせて、専門的に学問分野を深めるために、前期課程に学問の基本的な手法を学ぶ「研究入門」、後期課程に少人数によって調査・研究・発表の手法を学ぶ「演習」を配置します。この科目において、みずから設定した当該分野に関わる主題によって研究を深め「卒業論文・卒業研究」にまとめることで、課題を探究する思考力や表現力を修得することを目指します。

(1) 人文学科

日本・東洋から西洋までを視野におさめつつ、日本文学、創作・表現、日本史、西洋史、美術史、総合文化、現代思想・社会、国際教養に関する学識を深めます。これらの分野は本学の人文学科のカリキュラムの中心となるものです。

具体的には、1～2年の前期課程ではたとえば日本文学概論、創作論、日本史概説、西洋史概説、日本美術史、比較文化概論、哲学概論、国際関係学など「総論」を中心に学修し、3～4年の後期課

程では「各論」や「特殊講義」等を履修して、より専門的な知識を深めます。たとえば、各論では近代日本文学、日本語文章表現、日本文化史、西洋文化史、東西美術交流、女性と文化、現代思想、多文化社会と民族問題などの授業が履修できます。

また、2年次には必修科目として上記の各分野に関する「人文学研究入門」を履修し、問題を論理的に分析し、自己の意見を表現する訓練を行います。3～4年次にはそれをさらに発展させた「人文学演習」を履修し、卒業論文・卒業研究を作成します。

さらに、4年間を通して国語、書道の教職及び学芸員資格の取得に必要な講義科目や実習科目を履修することができます。

(2) 現代文化表現学科

前期課程においては、専門分野の基礎的な知識を学びます。また「文化表現基礎論」や「現代文化概論」で読み解く力を身につけ、同時に文化表現の全体像を把握する基礎力を修得します。

後期課程では、より専門的な知識を深めるための「映画論」や、より高度なスキル獲得を目的とする「デジタル表現実習」「アート&デザイン実習」「ライティング特殊演習」で、文化表現について多角的に考察し自ら表現する力を修得するとともに、「現代文化表現学演習」を履修し、卒業論文・卒業研究を作成します。

■ マネジメント学部

前期課程では、学問の概要と基礎を学ぶために、「学部基礎科目」、および企業、公共、文化、生活環境分野の「基幹科目」を配置します。また、実践的なマネジメントの技能を学ぶために、「演習」及び「実習」を配置します。希望者は「就業体験」を履修します。これらによって、後期課程に向けて学びべき目標や課題を明らかにします。

後期課程では、専門性を高めるために、企業、公共、文化、生活環境分野の「展開科目」を配置します。「展開科目」の履修によって、学問の体系的修得を目指すとともに、解決すべき課題を自ら発見し、その解決策を提案することができる能力の修得を目指します。

後期課程で身につける知識を実践的に展開し、専門領域における創造的思考力・課題解決力・表現力を身につけるために、3年次および4年次に「演習」を配置し、また、自らが発見する課題に対する解決策を提案することにより、論理的思考力と課題解決力を身につけるために、4年次に「卒業論文・卒業研究」を配置します。

マネジメント学科

前期課程では、必修の「マネジメント学入門」を通して、マネジメントに関する基礎知識を学びます。そして必修の「マネジメント実践演習」の履修により実践的なマネジメントの技能を学ぶとともに、希望者は「就業体験」を履修します。これらによって、後期課程での企業、公共、文化のいずれかの専門領域の選択および学びべき目標や課題を明らかにします。

後期課程では、企業、公共、文化の専門領域におけるより具体的かつ専門性の高い展開科目とともに、経営、経済、文化、行政、法律など広範な分野を学習します。また、「展開ゼミナール」の履修により、後期課程で身につける知識を具体的課題との関連において深化させ、マネジメントを担うための実践的技能を修得します。また、「卒業論文・卒業研究」を通じ、論理的思考力と課題解決力を身に付けます。

■ 観光コミュニティ学部

観光コミュニティ学部は、学識の修得を段階的に進めるために、学問の概要と基礎を学ぶ「基幹科目」を前期課程に配置し、後期課程において専門性を深化させた「展開科目」「特殊講義」を配置します。

実践的な技能の修得を目的に、基本的な能力を学ぶ「基礎ゼミナール」を前期課程に配置し、後期課程では専門的な技能を身につける「特殊演習」「実習」を配置します。

さらに、観光、まちづくりの各分野における諸問題を発見し、解決するアイデアを創出・提案する能力の修得を目指す「演習」を配置します。

また、「社会調査士課程」を通じて、社会事象を科学的に調査・分析する能力を身につけます。

観光デザイン学科

観光デザイン学科は、観光デザインの学識や実践的な技能、社会において実際に発揮できる観光デザイン能力、観光に関連する各種業界が抱える問題を発見し、解決する能力を段階的に身につけられるように、前期課程において、観光及び観光事業に関する「観光学入門」など3つの必修科目から構成される「基幹科目」を学び、さらに「基礎ゼミナール」を通じて実践力を身につける第一歩を刻みます。

後期課程では、「展開科目」「特殊演習」「実習」などによって観光に関連する各分野の専門的知識を身につけ、観光デザイン力や観光関連業界で活躍するための技能、観光関連業界が抱える問題に対する解決力を身につけます。また、「観光デザイン演習」において、専門的知識を実践的に活用し、応用力、創造的な思考力、提案力を身につけます。それとともに卒業論文・卒業研究への取り組みを通じて論理的思考力と課題解決力、プレゼンテーション能力を身につけます。

■ 心理学部

臨床心理学科

臨床心理学科は、臨床系、発達・教育系、社会系、実験系等の心理学の幅広い領域に関する学識を修得するのに必要な講義科目と、実践的な技能を養う演習科目や実習科目を配置することとし、それを詳細に記載したものが以下のとおりである。

- ・前期課程（第1～第4セメスター）においては、〈総論〉（「心理学概論」「臨床心理学概論」「教育・学校心理学」等）のほか、〈研究入門〉（「心理学統計法」）、〈実習〉（「心理学実験」）を通して、基礎・実験系、発達・教育系、社会系、医療系等の心理学の各領域の概観を捉え、心の科学への基本姿勢を身につける。
- ・後期課程（第5～第8セメスター）では、〈各論〉の心理学的理論と方法、心理学の諸領域、心理学的支援の理論、技法、研究、実践の場に関する理論と方法、心理学隣接諸領域、に関する科目を通して、さらにその理解を深め技能を高める。
- ・臨床心理学の実践力（問題解決能力、人間尊重の姿勢、倫理観、協働の精神など）については、前期課程で得た知識・技能を踏まえて、〈実習〉〈特殊演習〉〈演習〉を通して修得する。
- ・全学共通科目前期課程の情報処理科目、演習科目などで身につけた情報リテラシー、プレゼンテーション能力は、後期課程学科専門科目〈演習〉〈卒業論文・卒業研究〉へとつないでゆく。
- ・前期課程から後期課程を通して配置されている実習、演習科目では、心の現象、心身の健康に対す

る興味・関心に基づいて、課題を見出し、課題の解決に向けて見通しを立て調整していく自己管理能力、協調性、倫理観などを養う。

教育課程

大学を卒業する（学士の学位を取得する）ためには、4年以上在学し、所定の単位を修得しなければなりません。本学の教育課程では、基礎から専門へと積み重ねて修得していくことができるように、教育課程を前期課程（1・2年次）と後期課程（3・4年次）に分け、前期課程から後期課程に進級するための条件を定め、この要件を満たさないときは、もとの学年次に留まる進級制度をとっています。

なお、修業年限は「学則第八条」に定めるとおり、前期課程2年と後期課程2年に分け、それぞれの課程において4年を超えて在籍することはできません。

■単位と授業

「単位」とは、「一定の学修量」を示すもので、1単位についての基準は『大学設置基準』第二十六条第二項により、「四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成すること」が標準とされています。本学においても「学則第十九条」においてこれを定めています。なお、下記に示す通り、四十五時間の学修のうち授業に求められる時間数が、授業の方法によって異なるので、同じ時間数の授業を受けても与えられる単位数は異なることがあります。

①講義科目

15時間の授業と30時間の自習をもって1単位とするので、週1時限（2時間、本学においては100分）、1セメスター14週をもって2単位を与える。

②外国語・講読・演習科目

30時間の授業と15時間の自習をもって1単位とするので、週1時限（2時間、本学においては100分）の場合は、1セメスター14週をもって1単位を与える。

週2時限（4時間、本学においては100分を2回）の場合は、1セメスター14週をもって2単位を与える。

③実験・実習・実技科目

30～45時間の授業と15～0時間の自習をもって1単位とするので、週1時限（2時間、本学においては100分）、1セメスター14週をもって1単位を与える。

■開設科目の種類

本学で開設されている科目は、「全学共通科目」および「学部専門科目」です。なお、本学文学部人文学科には、別に「教職に関する科目」、「図書館に関する科目」、「司書教諭に関する科目」、「博物館に関する

る科目」、観光コミュニティ学部には「社会調査士課程」が開設されています。（「資格取得課程」の項を参照のこと）

■卒業の要件

卒業に必要な単位数は、文学部、マネジメント学部、観光コミュニティ学部、心理学部ともに全学共通科目44単位、学部専門科目66単位、自由選択区分14単位、合計124単位で、次のとおり前期課程においては、「全学共通科目34単位」「学部専門科目20単位」「自由選択区分8単位」、後期課程においては、「全学共通科目10単位」「学部専門科目46単位」「自由選択区分6単位」を修得しなければなりません。

なお、前期課程および後期課程において修得すべき所定の単位数については、次表を参照してください。

	全学共通科目	学部専門科目	自由選択区分
前 期 課 程	34単位	20単位	8 単位
後 期 課 程	10単位	46単位	6 単位
合計修得単位	44単位	66単位	14単位
卒 業 要 件	124単位		

■前期課程修得要件

①進級

前期課程では、全学共通科目および学部専門科目について次表の要件を含み、単位を修得します。なお、全学共通科目については、全学部全学科ともに同じ修得要件となっています。

前期課程に2年以上在学し、前期課程の修得要件を満たした者は、後期課程に進級できます。前期課程から後期課程に進級する時期は、3年次の初めです。進級するための修得要件は次表のとおりです。

【全学共通科目・前期課程修得要件】〈全学部共通〉

科 目 区 分	修 得 単 位 数
外 国 語 科 目	8 単位以上
情 報 科 目	3 単位以上
導 入 科 目	3 単位
教 養 科 目	8 単位以上
キャリア科目	4 単位以上
体育実技科目	選 択
合計修得単位	34単位 34単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の全学共通科目の単位として算入することはできない。

【文学部専門科目・前期課程修得要件】〈文学部〉

科目区分	人文学科修得単位数	現代文化表現学科修得単位数
文学部共通専門科目	選 択	選 択
総 論	8 単位以上	10 単位以上
研 究 入 門	4 単位	4 単位
基 礎 実 習	選 択	選 択
基 礎 演 習		
資 格 科 目	選 択	
文学部全学科 合計修得単位	上記要件を含み20単位 20単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。	

【マネジメント学部専門科目・前期課程修得要件】〈マネジメント学部〉

科目区分	マネジメント学科修得単位数
マネジメント学部基礎科目	2 単位以上
基 幹 科 目	6 単位以上
演 習	2 単位
実 習	選 択
マネジメント学部 合計修得単位	上記要件を含み20単位 20単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。

【観光コミュニティ学部専門科目・前期課程修得要件】〈観光コミュニティ学部〉

科目区分	観光デザイン学科修得単位数
観光コミュニティ学部基礎科目	選 択
基 幹 科 目	10 単位以上
演 習	1 単位
観光コミュニティ学部 合計修得単位	上記要件を含み20単位 20単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。

【心理学部専門科目・前期課程修得要件】〈心理学部〉

科目区分	臨床心理学科修得単位数
総 論	12 単位以上
研 究 入 門	2 単位
実 習	2 単位
心理学部 合計修得単位	上記要件を含み20単位 20単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。

②仮進級

進級要件を満たしてはいないが、前期課程に2年以上在学し、全学共通科目と学部専門科目の合計で、進級要件のうち52単位以上修得している者（進級要件で定められた必要単位数を満たす上で不足する単位数が10単位以下の者）に対しては、学長が仮に進級することを許可することがあります。ただし、前期課程として認められる在学期間が満了した者は、除籍となります。

仮進級が認められた者の後期課程における履修は、進級が認められた者と同等です。ただし、前期課程として認められる在学期間中に前期課程科目を修得しなければなりません。この期間に修得できなかった場合、除籍となります。

仮進級を許可された者がこれを辞退するときは、教務部長が定める期日までに仮進級辞退届を提出しなければなりません。

■後期課程修得要件

後期課程では、全学共通科目および学部専門科目について次表の要件を含み、単位を修得します。なお、全学共通科目については、全学部全学科ともに同じ修得要件となっています。

後期課程に2年以上在学し、前期課程と後期課程の修得要件を満たした者は、卒業することができます。

【全学共通科目・後期課程修得要件】〈全学部共通〉

科目区分	修得単位数
外国語科目	選択
情報科目	選択
教養科目	2単位以上
キャリア科目	3単位以上
合計修得単位	10単位 10単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※前期課程の全学共通科目を算入することはできない。

【文学部専門科目・後期課程修得要件】〈文学部〉

科目区分	人文学科修得単位数	現代文化表現学科修得単位数
文学部共通専門科目	選 択	選 択
各 論	16単位以上	16単位以上
特 殊 講 義	10単位以上	6 単位以上
特 殊 演 習		4 単位以上
実 習		
演 習	4 単位	4 単位
卒業論文・卒業研究	2 単位	2 単位
文学部全学科 合計修得単位	上記要件を含み46単位 46単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程で修得した前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目及び学科専門科目）並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。 ただし、人文学科においては、後期課程生として修得した前期課程の総論6単位を含めることができる。	

【マネジメント学部専門科目・後期課程修得要件】〈マネジメント学部〉

科目区分	マネジメント学科修得単位数
マネジメント学部基礎科目	26単位以上
展 開 科 目	
演 習	4 単位
卒業論文・卒業研究	2 単位
マネジメント学部 合計修得単位	上記要件を含み46単位 46単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程で修得した前期課程の学部専門科目（学部基礎科目及び学科専門科目）並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。

【観光コミュニティ学部専門科目・後期課程修得要件】〈観光コミュニティ学部〉

科 目 区 分	観光デザイン学科修得単位数
観光コミュニティ学部基礎科目	選 択
展 開 科 目	26単位以上
特 殊 講 義	
特 殊 演 習	
演 習	4 単位
卒業論文・卒業研究	2 単位
観光コミュニティ学部 合計修得単位	上記要件を含み46単位 46単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程で修得した前期課程の学部専門科目（学部基礎科目及び学科専門科目）並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目 6 単位を含めることができる。

【心理学部専門科目・後期課程修得要件】〈心理学部〉

科 目 区 分	臨床心理学科修得単位数
各 論	24単位以上
特 殊 演 習	2 単位以上
実 習	
演 習	4 単位
卒業論文・卒業研究	2 単位
心理学部 合計修得単位	上記要件を含み46単位 46単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。

■履修登録単位数

進級又は卒業に必要な単位を修得することになる授業科目を、履修科目として履修登録しなければなりません。一学期ごとの単位数の総計（登録総単位数）は次表のとおりです。

	下限	上限	ただし、小数点以下は切り捨てるため、登録申請する際の単位数の上限は、1学期ごとに22単位とする。
前期課程	15単位	22単位	
後期課程	8単位	22単位	

※登録総単位数の下限は、進級または卒業の見込みの立つ単位数をもって下限とすることができる。

※通年科目は、春学期と秋学期に均等に分割して登録総単位数に算入する。

※集中講義科目（夏季休業日・冬季休業日及び春季休業日等を実施される授業科目）は、登録総単位数には含めない。

※教職・司書・司書教諭・学芸員の資格課程科目は含めない。

※他学部・他学科の専門科目を履修登録する場合は、登録総単位数に含める。

※他の大学等との間で締結した協定に基づく授業科目の履修は、本学における履修科目の登録とみなし、登録総単位数に含める。

※前期課程生である後期課程開設科目の履修許可者の後期課程開設科目の履修登録単位数は、「原級留置となった前期課程生の後期課程科目履修及び単位認定に関する規程」を参照すること。

※後期課程生が卒業要件に含まれない前期課程開設科目を履修登録する場合は、登録総単位数に含めない。なお、進級要件を満たす必要から、仮進級許可者は前期課程開設科目を履修登録する場合は、登録総単位数に含める。

《成績優秀者に対する履修登録上限単位数の緩和》

跡見学園女子大学履修規程第12条に基づき、以下の要件を満たす学生は、履修登録の上限単位数を緩和することができます。

【対象となる学生】

- ・前年度のGPAが3.0以上

【緩和内容】

- ・上限を超えて履修科目の登録を認める期間：1年間
- ・上限を超えて履修科目の登録を認める単位数：4単位（学期ごとの配分は定めない）
- ・対象学年：2年次以上

【申請方法】

- ・履修登録期間中に窓口またはメールで、履修登録相談用紙を提出

■他学部・他学科の専門科目の履修

1. 他学部の専門科目の履修	自由選択区分として卒業要件に含めることができる。
2. 自学部他学科の専門科目の履修	履修規程第七条に定める単位数を上限に、自学部・自学科の専門科目として卒業要件に含めることができる。

【当該学部学科に所属する学生の履修を優先させ、他学部他学科生等の履修を制限することができる科目】

開設学部	学 科	科目区分	授業科目
文学部	人文学科	研究入門	人文学研究入門A～L
		演習	人文学演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
	現代文化表現学科	研究入門	現代文化表現学研究入門A～H
		演習	現代文化表現学演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
マネジメント学部	マネジメント学科	演習	マネジメント実践演習（経営）A～C
			マネジメント実践演習（マーケティング）A・B
			マネジメント実践演習（企業）
			マネジメント実践演習（経済）A・B
			マネジメント実践演習（会計）
			マネジメント実践演習（政策）A・B
			マネジメント実践演習（法律）A・B
			マネジメント実践演習（文化）A・B
			マネジメント実践演習（芸術）A・B
			マネジメント実践演習（情報）
		実習	就業体験（マネジメント）
		演習	展開ゼミナールⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
観光コミュニティ学部		基礎科目	観光まちづくり実習Ⅰ・Ⅱ
			エアライン実務実習
			ホテル実務実習
			社会調査実習Ⅰ・Ⅱ
	観光デザイン学科	演習	基礎ゼミナール（観光）
			キャリアデザイン演習（観光）
			観光デザイン演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究
心理学部	臨床心理学科	研究入門	心理学統計法
		実習	健康心理アセスメント実習
			心理実習A・B、臨地実習
		特殊演習	心理演習
		演習	臨床心理学演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB
		卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究

全学共通科目の履修

全学共通科目は、全学部が履修することができます。ただし、「外国語科目」と「情報科目」、「導入科目」及び「社会人形成科目」については、クラス指定になります。

なお、同一科目名で開講されている科目については、1科目しか卒業に必要な単位とすることはできません。再度履修しても重複扱いとなります。

卒業に必要な全学共通科目の単位数は、前期課程34単位、後期課程10単位の所定修得単位数を含む44単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備 考
前期課程	外国語科目	8単位以上	A・B・C・Dコースのいずれかの要件を満たしつつ、8単位以上修得する。 外国語「選択」区分から必修と同じ外国語2単位までを必修単位として読み替えることができる。
	情報科目	3単位以上	データサイエンス基礎および情報リテラシー基礎を含めて3単位以上を修得する。
	導入科目	3単位	花蹊の教育と女性の生き方、プロゼミⅠ、プロゼミⅡの3単位を修得する。
	教養科目	8単位以上	
	キャリア科目	4単位以上	キャリア・コア科目2単位以上を含めて4単位以上を修得する。
	体育実技科目	選択	
前期課程合計修得単位		34単位	34単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の全学共通科目の単位として算入することはできない。
後期課程	外国語科目	選択	
	情報科目	選択	
	教養科目	2単位以上	
	キャリア科目	3単位以上	キャリア・コア科目2単位以上と日本語演習を含めて3単位以上を修得する。
後期課程合計修得単位		10単位	10単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。
合計修得単位		44単位	

全学共通科目課程表【前期課程】

区分		授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
外 国 語 科 目	A	英語 AⅠ a	1	8 単 位	1	春学期 秋学期	明石 道子 アダム・クリストファー 阿部 陽子、井上 真理 J. ウィット、大木 富 岡田 真弓、小平 昌子 影山なおみ、兼利 琢也 香山はるの、川村 由美 衣川 清子、木下ひろみ 久保田恵理、小池 知之 小暮 正人、古田島綾子 清水 雅夫、菅沼 文子 妹尾新太郎、高井美紀子 田村奈穂子、徳岡麻絵子 西田 晴美、野上 文子 林 愛、穂刈 友洋 本多幸七郎、峰松 和子 宮津多美子、宮本 和茂 森村たまき、山本 三穂 吉田 信夫、陸田絵里子	A・B・C・Dコースのいずれかを選択して8単位を修得する。 Cコースを選択した場合は、フランス語Ⅰ～Ⅳ、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ、朝鮮・韓国語Ⅰ～Ⅳのうち1つの外国語を選択し、8単位を修得する。 Dコースは、Aコースの英語AⅠ a・AⅠ b・AⅡ a・AⅡ bとCコースの1つの外国語のⅠ・Ⅱを組み合わせ合わせて8単位を修得する。 なお、必修外国語の修得単位数が不足する場合、外国語「選択」区分から必修と同じ外国語2単位までを必修単位として読み替えることができる。
		英語 AⅠ b	1		1			
		英語 AⅡ a	1		1			
		英語 AⅡ b	1		1			
		英語 AⅢ a	1		2			
		英語 AⅢ b	1		2			
		英語 AⅣ a	1		2			
		英語 AⅣ b	1		2			
	B	英語 BⅠ a	1		1	春学期 秋学期	J. ウィット、菅沼 文子 本多幸七郎、西田 晴美 野上 文子、P. レイツ	
		英語 BⅠ b	1		1			
		英語 BⅠ c	1		1			
		英語 BⅠ d	1		1			
		英語 BⅡ a	1		1			
		英語 BⅡ b	1		1			
		英語 BⅡ c	1		1			
		英語 BⅡ d	1		1			
	C	フランス語Ⅰ	2		1	春学期 秋学期	石井 珠江、伊藤 敬佑 篠原 洋治、鈴木 暁 高尾 歩、中原 暁彦 中山慎太郎	
		フランス語Ⅱ	2		1			
		フランス語Ⅲ	2		2			
		フランス語Ⅳ	2		2			
		ドイツ語Ⅰ	2		1	春学期 秋学期	阿部 一哉、長谷川悦朗 早崎えりな フィッシャー大澤ユディット R. ヘニング	
		ドイツ語Ⅱ	2		1			
		ドイツ語Ⅲ	2		2			
		ドイツ語Ⅳ	2		2			
		中国語Ⅰ	2		1	春学期 秋学期	石黒ひさ子、和富 弥生 佐和田成美、張 国璐 塚越 千史、安本 真弓 和田 和子	
		中国語Ⅱ	2		1			
		中国語Ⅲ	2		2			
		中国語Ⅳ	2		2			

区分		授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考	
外国語科目	C	朝鮮・韓国語Ⅰ	2	8 単位	1	春学期 秋学期	李 魏 金 南錦、家永 祐子 聖鈴、金 任仲 秀美、辛 大基 朴 惠美		
		朝鮮・韓国語Ⅱ	2		1				
		朝鮮・韓国語Ⅲ	2		2				
		朝鮮・韓国語Ⅳ	2		2				
	選択	英語マルチメディアレッスン	1	選択	1・2	春学期 秋学期	マック, カレン		
		英語リーディング・ライティング	1		1・2	春学期	林 愛		
		英語再入門	1		1・2	春学期	兼利 琢也		
					1・2	秋学期	中村 聡		
		英語コミュニケーションA	1		1・2	春学期	P. レイツ		
		英語コミュニケーションB	1		1・2	秋学期	アダム・クリストファー		
		基礎英語	1		1・2	春学期	中村 聡		
					1・2	秋学期	林 愛		
		実用フランス語（基礎）	1		1・2	秋学期	中山慎太郎		
		フランス語圏文化で学ぶフランス語（入門）	1		1・2	春学期	中山慎太郎		
		フランス語コミュニケーションA	1		1・2	春学期	中山慎太郎		
		フランス語コミュニケーションB	1		1・2	秋学期	伊藤 敬佑		
		基礎ドイツ語A	1		1・2	春学期	阿部 一哉		
		基礎ドイツ語B	1		1・2	秋学期	片岡 慎泰		
		ドイツ語コミュニケーションA	1		1・2	春学期	R. ヘニング		
		ドイツ語コミュニケーションB	1		1・2	秋学期	フィッシャー大澤ユディット		
		基礎中国語A	1		1・2	春学期	安本 真弓		
		基礎中国語B	1		1・2	秋学期	安本 真弓		
		中国語会話A	1		1・2	春学期	安本 真弓		
		中国語会話B	1		1・2	秋学期	安本 真弓		
		朝鮮・韓国語圏文化で学ぶ朝鮮・韓国語	1		1・2	春学期	家永 祐子		
		実用朝鮮・韓国語（基礎）	1		1・2	秋学期	李 南錦		
		朝鮮・韓国語コミュニケーションA	1		1・2	春学期	金 秀美		
		朝鮮・韓国語コミュニケーションB	1		1・2	秋学期	金 秀美		

区分		授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
情 報 科 目		データサイエンス基礎	2	3単位	1	春学期	丸岡 吉人	オンデマンド
		情報リテラシー基礎	1		1	春学期 秋学期	川端 正弘、北久保 茂 黒田 涼、小久保秀之 近藤佐保子、柴田 徹 高瀬 浩史、福澤 保裕 松田 洋	
		情報リテラシー応用	1	選 択	1	春学期 秋学期	近藤佐保子、福澤 保裕	
		プログラミング基礎演習	1		1・2	春学期	田辺公一朗	
		データ分析基礎演習	1		1・2	秋学期	近藤佐保子	
		Microsoft Office Specialist基礎演習	1		1・2	春学期	倉橋 節也、黒田 涼	
						秋学期	倉橋 節也	
導 入 科 目		花溪の教育と女性の生き方	1	3単位	1	春学期 秋学期	要 真理子	オンデマンド、 オムニバス形式
		プロゼミⅠ	1		1	春学期 秋学期	阿部 一哉、植田 恭代 大高 皇、岡本 潤子 小栗 貴弘、小関 孝子 鍵屋 一、金山 裕望 金 志善、河村 英和 栗田 秀法、酒井 佳永 櫻川 幸恵、笹島 雅彦 佐藤 富雄、塩月 亮子 篠原 靖、肖 栄	
		プロゼミⅡ	1		1		崔 勝溟、中山慎太郎 並木 崇浩、根岸 貴哉 福島 里美、マック、カレン 丸岡 吉人、峰松 和子 宮岡 佳子、安本 真弓 矢野 峰生、山岡華菜子 山田 秀樹、山本 博一 横堀 応彦、吉川 侑輝 吉澤 京子、吉田 信夫	
教 養 科 目	人 文	文芸理論	2	8単位以上	1・2	春学期 秋学期	神田 浩一	
		歴史理論	2		1・2	秋学期	香坂 直樹	
		言語科学	2		1・2	春学期	若狭 基道	
		記号論	2		1・2	秋学期	若狭 基道	
		日本現代史	2		1・2	秋学期	岡山 麻子	
		アジア現代史	2		1・2	春学期	小川 忠	
		ヨーロッパ現代史	2		1・2	春学期	石田 信一	
		日本文学	2		1・2	春学期	三村 友希	
					1・2	秋学期	岩田久美加	
		中国文学	2		1・2	秋学期	馬場 昭佳	
		英文学	2		1・2	秋学期	西田 晴美	
		ドイツ文学	2		1・2	春学期	片岡 慎泰	
			フランス文学		2	1・2	春学期 秋学期	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
教 養 科 目	人 文	ロシア文学	2	1・2	春学期	加藤 百合	
		朝鮮・韓国文学	2	1・2	春学期	辛 大基	
		西洋古典文学	2	1・2	春学期	小島 和男	
		百人一首	2	1・2	春学期	石井 正己	
	社 会			1・2	秋学期	佐佐木頼綱	
		異文化理解	2	1・2	春学期	峰松 和子	
				1・2	秋学期	阿部 一哉	
		地理学	2	1・2	春学期	大高 皇	
		社会学	2	1・2	春学期	土居 洋平	
		国際関係論	2	1・2	春学期	高橋 善隆	
		ボランティア論	2	1・2	秋学期	越智 方美	
		法学	2	1・2	春学期	高橋 聖子	
		日本国憲法	2	1・2	春学期 秋学期	山口 哲史	
		政治学	2	1・2	秋学期	高橋 善隆	
		家政学	2	1・2	秋学期	白石 杏	
		経済学	2	1・2	秋学期	田中 秀実	
		現代ジャーナリズム論	2	1・2	春学期	臺 宏士	
		マスコミとの付き合い方	2	1・2	秋学期	臺 宏士	
		イベント論	2	1・2	春学期	岡星 竜美	
	人 間 問	哲学	2	1・2	春学期	大西 正人	
		倫理学	2	1・2	秋学期	大西 正人	
		論理学	2	1・2	春学期	大西 正人	
		認識論	2	1・2	春学期	阿部 里加	
		心理学	2	1・2	春学期 秋学期	飯高 晶子	
		環境心理学	2	1・2	春学期	小林 美紀	
		教育学	2	1・2	秋学期	谷戸 玲子	
		保育学	2	1・2	春学期	相樂真樹子	
		生涯学習概論	2	1・2	春学期 秋学期	牧野 修也	
	自 然	統計学	2	1・2	秋学期	藤本 隆史	
		科学史	2	1・2	秋学期	小口 峰樹	
		情報科学の技術	2	1・2	春学期	松田 洋	
		データサイエンス・AIと社会	2	1・2	春学期	高瀬 浩史	
		数学	2	1・2	秋学期	松田 洋	

8単位以上

区分		授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考	
教 養 科 目	自 然	物理学	2	8 単 位 以 上	1・2	秋学期	田中 里佳		
		地球科学	2		1・2	秋学期	池田 史枝		
		生物学	2		1・2	春学期	杉森 賢司		
		化学	2		1・2	春学期	天海 弘		
		自然保護論	2		1・2	春学期	坂本 有希		
		生理学	2		1・2	秋学期	橋本 典生		
		健康科学	2		1・2	春学期	八木 一弥		
	芸 術	アート入門	2		1・2	秋学期	栗田 秀法、 柴田 眞美、 翹持あずさ 矢島 新		
		ワークショップで学ぶアートA	1		1・2	春学期	茂木 一司		
		ワークショップで学ぶアートB	1		1・2	秋学期	柴田 眞美		
		現代書芸実習	1		1・2	春学期	香取 潤哉		
		WEBデザイン基礎演習	1		1・2	春学期	柴田 徹		
		マルチメディア基礎演習（映像）	1		1・2	秋学期	松田 洋		
		マルチメディア基礎演習（音楽）	1		1・2	秋学期	伊藤 穰		
キ ャ リ ア 科 目	キ ャ リ ア ・ コ ア 科 目	女性のライフプラン	2	2 単 位 以 上	1・2	春学期 秋学期	澤田 裕美		
		女性の働き方とキャリア	2		1・2	春学期 秋学期	鈴木 紀子		
		女性のヘルスケア	2		1・2	春学期 秋学期	石渡 尚子		
		働く女性史	2		1・2	春学期	石崎 裕子		
	キ ャ リ ア 実 践 科 目	ビジネス文章表現演習	1	4 単 位 以 上	選 択	1・2	春学期 秋学期	飯田 勝啓	
		ディベート演習	1			1・2	秋学期	峰松 和子	
		自己表現演習	1			1・2	春学期 秋学期	大塚 映	
		プレゼンテーション演習	1			1・2	春学期	飯田 勝啓	
		キャリア基礎演習（グループワーク）	1			1・2	春学期	佐藤 敦	
		キャリア基礎演習（数的処理）Ⅰ	1			1・2	春学期	深町 浩祥	
		キャリア基礎演習（数的処理）Ⅱ	1			1・2	秋学期	深町 浩祥	
		秘書技能演習	1			1・2	春学期 秋学期	澤田 裕美	
		簿記会計基礎演習Ⅰ	2			1・2	春学期	鈴木 和哉	2 限連続
		簿記会計基礎演習Ⅱ	2			1・2	秋学期	鈴木 和哉	2 限連続
		TOEIC特別演習Ⅰ	1			1・2	春学期	西田 晴美	
			秋学期				野上 文子		
		ボランティア実践A	2			1・2	春学期	南里 隆宏	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
体 育 実 技 科 目	体育実技（球技）	1	選 択	1・2	秋学期	熊澤 拓也、八木 一弥	
	体育実技（ダンス・体操）	1		1・2	春学期 秋学期	南 明恵美	
	体育実技（ラケット種目）	1		1・2	秋学期	熊澤 拓也、南 明恵美 八木 一弥	
	体育実技（ゲーム・レクリエーション）	1		1・2	春学期 秋学期	南 明恵美	
	体育実技（水泳）	1		1・2	春学期	山本 夏生	
	体育実技（水中運動）	1		1・2	春学期	山本 夏生	
	体育実技（フィットネス）	1		1・2	春学期	八木 一弥	
	体育実技（基礎運動）	1		1・2	春学期	南 明恵美	

※選択したコース以外の必修外国語を履修した場合の取り扱いについて

〈英語の履修について〉

①選択したコース以外の英語の履修は認めない。

〈フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語の履修について〉

②Cコース・Dコースを選択した者は、選択した言語以外の他の必修外国語の履修は認めません。

③Aコース又はBコースを選択した者は、必修のフランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語のうち1外国語のみ履修することを認める。修得した単位は、全学共通科目の単位として算入することができる。
なお、選択したコース以外の外国語は、指定された順序で履修することを原則とする。

選択した コース	クラス指定科目		クラス指定以外の 仏語、独語、中国語、 朝鮮・韓国語	進級要件上の扱い
	英語	仏語、独語、中国語、 朝鮮・韓国語		
A	英 語 A (8単位)		+	8単位に満たなくても、全学共通科目の「必要を超えて修得した単位」として算入可。
B	英 語 B (8単位)			
C	英語なし	仏、独、中、朝鮮・ 韓国語のいずれか 1 外国語のみ (8単位)	履修不可	なし
D	英 語 (4単位)	仏、独、中、朝鮮・ 韓国語のいずれか 1 外国語のみ (4単位)	履修不可	なし

全学共通科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
外国語科目	テーマで学ぶ英語（文化）	1	選択	3・4	春学期	令和9年度開講	
	テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅰ	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	テーマで学ぶ英語（ビジネス）Ⅱ	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	テーマで学ぶ英語（観光）Ⅰ	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	テーマで学ぶ英語（観光）Ⅱ	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	テーマで学ぶ英語（社会問題）	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	テーマで学ぶ英語（メディア）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	英語コミュニケーション（プレゼンテーション）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	中級英語	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	アカデミック英語スキル	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	フランス語圏文化で学ぶフランス語A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	フランス語圏文化で学ぶフランス語B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	実用フランス語（発展）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	テーマで学ぶフランス語	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	実用ドイツ語A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	実用ドイツ語B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	実用ドイツ語C	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	実用ドイツ語D	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	中国語会話（ビジネス）A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	中国語会話（ビジネス）B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	中国語会話（文化民俗）A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	中国語会話（文化民俗）B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代文化で学ぶ朝鮮・韓国語A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代文化で学ぶ朝鮮・韓国語B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	実用朝鮮・韓国語（発展）A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	実用朝鮮・韓国語（発展）B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	海外語学研修（単位認定）					令和9年度開講	
	海外語学研修（単位認定）					令和9年度開講	
情報科目	データ分析応用演習	1	選択	3・4	春学期	令和9年度開講	
	プログラミング応用演習	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	Microsoft Office Specialist演習	1		3・4	春学期	令和9年度開講	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
教 養 科 目	人 文	日本宗教論	2	3・4	秋学期	令和9年度開講	
		聖書学	2	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		ヨーロッパ中世文学	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		児童文学	2	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		ギリシア語とギリシア文化	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		ラテン語とローマ文化	2	3・4	秋学期	令和9年度開講	
		イタリア語とイタリア文化	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		スペイン語とスペイン文化	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		ロシア語とロシア文化	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
	社 会	ファッション論	2	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		ジェンダー論	2	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		男性学	2	3・4	秋学期	令和9年度開講	
		近代家族論	2	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		刑事法	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		民事法	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		労働法	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		国際法	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		国際社会論	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		国際経済	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		深層心理学	2	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		家族心理学	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		精神病理学	2	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
	自 然	天文学	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		建築環境論	2	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		水産学	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		河川海洋学	2	3・4	春学期	令和9年度開講	
		農林科学	2	3・4	秋学期	令和9年度開講	
		公衆衛生論	2	3・4	秋学期	令和9年度開講	
		プロダクトデザイン論	2	3・4	秋学期	令和9年度開講	
	芸 術	WEBデザイン演習	1	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		マルチメディア演習	1	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	

区分		授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
教 養 科 目	総 合	総合科目（日本とアジア）	2	2 単位以上	3・4	春学期	令和9年度開講	
		総合科目（国際政治）	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		総合科目（映像メディアと社会）	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		総合科目（人間と自然）	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
キ ャ リ ア 科 目	キ ャ リ ア ・ コ ア 科 目	キャリアデザイン	2	2 単位以上	3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		ダイバーシティとキャリア	2		3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		女性のキャリア開発	2		3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		ビジネススキルとマナー	2		3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		女性のストレス・マネジメント	2		3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
	キ ャ リ ア 実 践 科 目	日本語演習	1	1 単位以上	3	春学期	令和9年度開講	日本漢字能力 検定2級以上 合格で「検定 資格（漢字検 定）」、日本語 検定2級以上 合格で「検定 資格（日本語 検定）」、各々 2単位を認定。
		キャリア演習（数的処理）Ⅰ	1	選 択	3・4	春学期	令和9年度開講	
		キャリア演習（数的処理）Ⅱ	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		簿記会計演習Ⅰ	2		3・4	春学期	令和9年度開講	2 限連続
		簿記会計演習Ⅱ	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	2 限連続
		ITパスポート演習Ⅰ	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
		ITパスポート演習Ⅱ	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		TOEIC特別演習Ⅱ	1		3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		色彩検定演習	1		3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
		ボランティア実践B	2		3・4	春学期	令和9年度開講	

3 教 育 課 程

令和8(2026)年度の入学生適用

文学部

■文学部共通専門科目の履修

文学部共通専門科目は、文学部の学生の卒業に必要な学部専門科目の単位として算入することができます。

文学部共通専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
講 義	英語実用文法	2	選 択	1・2	秋学期	秋本 隆之	
	レトリック概論	2		1・2	春学期	中村 聡	
	言語学概論	2		1・2	春学期	阿部 一哉	
	芸術論	2		1・2	秋学期	吉澤 京子	
	色彩論	2		1・2	春学期 秋学期	柴田 眞美	
	韓国文化	2		1・2	春学期	荻野 千尋	
	図書館概論	2		1・2	春学期 秋学期	岩崎 れい	
	コミュニケーション文化概論	2			春学期	穂苅 友洋	
実 習	芸術芸能実習（茶道）	1	選 択	1・2	春学期 秋学期	田原貴美子	
	芸術芸能実習（華道）	1		1・2	春学期 秋学期	責任者：香取 潤哉 浅野恵美子	
	芸術芸能実習（香道）	1		1・2	春学期 秋学期	梅澤めぐみ	

文学部共通専門科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
講 義	演劇論	2	選 択	3・4	秋学期	令和9年度開講	
	言語哲学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	朗読法	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	情報文化史	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	色彩象徴論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	図書・図書館史	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ジェンダーコミュニケーション論	2				令和9年度開講	
	社会言語学	2				令和9年度開講	
実習	声優	1	選 択	3・4	春学期	令和9年度開講	
演習	情報サービス演習A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	

■ 文学部専門科目の履修

1. 人文学科専門科目

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論	8単位以上	
	研究入門	4単位	
	基礎実習	選択	
	文学部共通専門科目	選択	
	資格科目	選択	
前期課程合計		20単位	前期課程要件12単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）8単位以上を修得する。なお、20単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。
後期課程	各論	16単位以上	
	特殊講義	10単位以上	特殊講義、特殊演習及び実習の授業科目から、合計10単位以上を修得する。
	特殊演習		
	実習		
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
	文学部共通専門科目	選択	
後期課程合計		46単位	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。なお、46単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び学部共通専門科目並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、人文学科においては、後期課程生として修得した前期課程の総論6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位	

人文学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
総 論	日本文学概論	2	8 単 位 以 上	1・2	春学期	植田 恭代	
	日本文学史	2		1・2	秋学期	三村 友希	
	中国文学概論	2		1・2	春学期	馬場 昭佳	
	書道史	2		1・2	春学期	香取 潤哉	
	書芸術の鑑賞	2		1・2	秋学期	香取 潤哉	
	国語学概論	2		1・2	春学期	山岡華菜子	
	創作論	2		1・2	秋学期	野崎 有以	
	物語論	2		1・2	春学期	稲垣 智花	
	シナリオ論	2		1・2	春学期	野崎 有以	
	地理学概説	2		1・2	秋学期	大高 皇	
	倫理学概論	2		1・2	秋学期	神山 伸弘	
	日本史概説A	2		1・2	春学期	長谷川裕子	
	日本史概説B（近代）	2		1・2	秋学期	松井慎一郎	
	東洋史概説	2		1・2	秋学期	小川 忠	
	西洋史概説A	2		1・2	春学期	早川 理穂	
	西洋史概説B（近代）	2		1・2	秋学期	石田 信一	
	日本美術史（鑑賞を含む）A	2		1・2	春学期	矢島 新	
	日本美術史（鑑賞を含む）B	2		1・2	秋学期	矢島 新	
	西洋美術史（鑑賞を含む）A	2		1・2	春学期	剣持あずさ	
	西洋美術史（鑑賞を含む）B	2		1・2	秋学期	栗田 秀法	
	博物館概論	2		1・2	春学期 秋学期	栗田 秀法	
	文化人類学	2		1・2	秋学期	森谷裕美子	
	民俗学	2		1・2	春学期	鈴木 明子	
	考古学概説	2		1・2	秋学期	水本 和美	
	哲学概論	2		1・2	春学期	神山 伸弘	
	美学概論	2		1・2	秋学期	神山 伸弘	
	国際関係学	2		1・2	秋学期	笹島 雅彦	
	国際文化交流	2		1・2	春学期	小川 忠	
	比較文化概論	2		1・2	春学期	剣持あずさ	
	英米文学概論	2		1・2	秋学期	香山はるの	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
研 究 入 門	人文学研究入門A *	2	4 単 位	2	春学期	植田 恭代	
	人文学研究入門B *	2		2	秋学期	加美 甲多	
	人文学研究入門C *	2		2	秋学期	奴田原 諭	
	人文学研究入門D *	2		2	秋学期	長谷川裕子	
	人文学研究入門E *	2		2	春学期	岡山 麻子	
	人文学研究入門F *	2		2	秋学期	石田 信一	
	人文学研究入門G *	2		2	春学期	矢島 新	
	人文学研究入門H *	2		2	秋学期	剣持あずさ	
	人文学研究入門I *	2		2	春学期	森谷裕美子	
	人文学研究入門J *	2		2	春学期	神山 伸弘	
	人文学研究入門K *	2		2	春学期	笹島 雅彦	
	人文学研究入門L *	2		2	秋学期	小川 忠	
基 礎 実 習	書道基礎実習AⅠ（入門）	1	選 択	1・2	春学期 秋学期	香取 潤哉	
	書道基礎実習AⅡ（応用）	1		1・2	春学期 秋学期	津田 好一	
	書道基礎実習B（楷書）	1		1・2	春学期	津田 好一	
	書道基礎実習C（行書）	1		1・2	秋学期	伊藤 亜美	
	絵画基礎実習	1		1・2	春学期 秋学期	柴田 真美 茂木 一司	
	デザイン基礎実習	1		1・2	春学期	茂木 一司	
	彫刻基礎実習	1		1・2	春学期	田中 隆史	
	工芸基礎実習	1		1・2	春学期	岩崎 裕純	
資 格 科 目	教育原理	2		1・2	春学期 秋学期	鈴木 芳明	
	教育心理学	2		1・2	春学期 秋学期	井口 武俊	

* 印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室に問い合わせてください。

人文学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
各 論	古代日本文学	2	16 単位 以上	3・4	春学期	令和9年度開講	
	中世日本文学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	近世日本文学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	近代日本文学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	漢文学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	書論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	比較文学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	国語史	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	国語音声学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	日本語文章表現	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	テキスト分析論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	作家と表現	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	日本の歴史と社会	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	日本文化史	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	風俗史	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	中国文化史	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代日本社会	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代アジア社会	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ミステリー文学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		秋学期			令和9年度開講		
	ヨーロッパの歴史と社会	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	西洋文化史	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	アメリカ史	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	イスラム史	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代ヨーロッパ社会	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代アメリカ社会	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	東洋美術史（鑑賞を含む）	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	近代美術史（鑑賞を含む）	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	文化財学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	東西美術交流	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
西洋図像学	2	3・4	秋学期	令和9年度開講			
女性と文化	2	3・4	春学期	令和9年度開講			
文化と心理	2	3・4	春学期	令和9年度開講			
文化と身体	2	3・4	秋学期	令和9年度開講			

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
各 論	伝承文化論	2	16 単位 以上	3・4	秋学期	令和9年度開講	
	文化の翻訳	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代思想	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	日本思想史	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	中国哲学史	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	西洋哲学史	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	比較神話論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	世界の宗教	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	日本外交史	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	多文化社会と民族問題	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	地誌学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文地理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	自然地理学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	国際連合	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	国際協力論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代中東アフリカ論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	教育学概論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
特 殊 講 義	人文学特殊講義（日本文学）A	2	10 単位 以上	3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（日本文学）B	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（日本文学）C	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（日本文学）D	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（日本文学）E	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（日本史）A	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（日本史）B	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（日本史）C	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（西洋史）A	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（西洋史）B	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（西洋史）C	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（美術史）A	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（美術史）B	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（美術史）C	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（総合文化）A	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（総合文化）B	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（総合文化）C	2		3・4	春学期	令和9年度開講	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
特 殊 講 義	人文学特殊講義（総合文化）D	2	10 単 位 以 上	3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（総合文化）E	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（現代思想・社会）A	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（現代思想・社会）B	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（現代思想・社会）C	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（国際教養）A	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（国際教養）B	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（国際教養）C	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人文学特殊講義（国際教養）D	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
特 殊 演 習	創作ライティング演習A（物語）	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	創作ライティング演習B（シナリオ）	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	創作ライティング演習C（短歌）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	創作ライティング演習D（俳句）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	創作ライティング演習E（評論・随筆）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
実 習	書道実習A（草書）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	書道実習B（隸書）	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	書道実習C（篆書・篆刻）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	書道実習D（仮名）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	書道実習E（漢字仮名交じり）	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	書道実習F（実用書法）	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	絵画実習A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	絵画実習B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	デザイン実習A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	デザイン実習B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	彫刻実習A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	彫刻実習B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	工芸実習A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	工芸実習B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
演 習	人文学演習ⅠA*	1	1単位	3	春学期	令和9年度開講	
	人文学演習ⅠB*	1	1単位	3	秋学期	令和9年度開講	
	人文学演習ⅡA*	1	1単位	4	春学期	令和10年度開講	卒業論文・卒業研究指導を含む。 演習ⅡBは、演習ⅡAの修得を履修の要件とする。
	人文学演習ⅡB*	1	1単位	4	秋学期	令和10年度開講	
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	2	2単位	4	通年集中	令和10年度開講	

* 印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室に問い合わせてください。

2. 現代文化表現学科専門科目

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	総論	10単位以上	必修4単位を含む。
	研究入門	4単位	
	基礎実習	選択	
	文学部共通専門科目	選択	
前期課程合計		20単位	前期課程要件14単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）6単位以上を修得する。なお、20単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。
後期課程	各論	16単位以上	
	特殊講義	6単位以上	
	特殊演習	4単位以上	
	実習		
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
	文学部共通専門科目	選択	
後期課程合計		46単位	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部共通専門科目、自学科専門科目または他学科専門科目）14単位以上を修得する。なお、46単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び学部共通専門科目並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。
合計修得単位数		66単位	

現代文化表現学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
総 論	文化表現基礎論	2	2単位	1	春学期	要 真理子	「概説」科目からはいずれか2単位以上を修得しなければならない。
	現代文化概論	2	2単位	1	秋学期	西原 麻里	
	ヴィジュアル・カルチャー概論	2	選 択	1・2	春学期	渡邊 大輔	
	現代社会と文化表現	2		1・2	春学期	佐藤 富雄	
	舞台芸術と身体表現	2		1・2	秋学期	川島 京子	
	ポピュラー音楽概論	2		1・2	春学期	吉田 信夫	
	現代メディア表現論	2		1・2	春学期	根岸 貴哉	
	デザイン文化論	2		1・2	秋学期	山本 博一	
	ファッション文化論	2		1・2	秋学期	元永 純代	
	現代アート論	2		1・2	秋学期	要 真理子	
	マンガ史概説	2	2 単 位 以 上	1・2	春学期	西原 麻里	
	映画史概説	2		1・2	秋学期	渡邊 大輔	
	アニメーション史概説	2		1・2	春学期	渡邊 大輔	
	舞台芸術史概説	2		1・2	春学期	江口 正登	
	ゲーム史概説	2		1・2	春学期	根岸 貴哉	
研 究 入 門	現代文化表現学研究入門A*	2	4 単 位	2	秋学期	佐藤 富雄	
	現代文化表現学研究入門B*	2		2	春学期	元永 純代	
	現代文化表現学研究入門C*	2		2	春学期	吉田 信夫	
	現代文化表現学研究入門D*	2		2	春学期	要 真理子	
	現代文化表現学研究入門E*	2		2	秋学期	西原 麻里	
	現代文化表現学研究入門F*	2		2	秋学期	畠山 宗明	
	現代文化表現学研究入門G*	2		2	秋学期	渡邊 大輔	
	現代文化表現学研究入門H*	2		2	春学期	川島 京子	
基 礎 実 習	映像表現基礎実習	1	選 択	1・2	春学期	中村 葵	
	デジタル表現基礎実習	1		1・2	春学期 秋学期	伊藤 穰	
	マンガ・イラスト制作基礎実習	1		1・2	春学期	中村 葵	
	ブック・デザイン基礎実習	1		1・2	春学期	馬場美桜子	
	アート&デザイン基礎実習	1		1・2	春学期	馬場美桜子	
	パフォーマンス基礎実習	1		1・2	春学期	越谷 真美	
	写真表現基礎実習	1		1・2	春学期 秋学期	奥村 暢欣	

* 印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室に問い合わせてください。

現代文化表現学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
各 論	文化表現とテクノロジー	2	16 単位 以上	3・4	春学期	令和9年度開講	
	文化表現とメディアミックス	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	文化表現の倫理	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	文化創造における伝統と現代	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	ジェンダーと文化表現	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	文化社会学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	アート・プロデュース論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	写真論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	キャラクター小説論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	感性文化論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ポピュラー音楽論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	映画論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	マンガ論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	アニメーション論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ゲーム文化論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代建築文化論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	スポーツ文化論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	コマーシャル表現論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	デジタル表現論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代日本のダンスと演劇	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
特 殊 講 義	現代文化表現学特殊講義（イメージ）A	2	6 単位 以上	3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（イメージ）B	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（イメージ）C	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（身体）A	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（身体）B	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（身体）C	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（ポピュラーカルチャー）A	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（ポピュラーカルチャー）B	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（ポピュラーカルチャー）C	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（社会）A	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（社会）B	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学特殊講義（社会）C	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
特 殊 演 習	ライティング特殊演習（メディア）A	1	4 単 位 以 上	3・4	春学期	令和9年度開講	
	ライティング特殊演習（メディア）B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ライティング特殊演習（編集）A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	ライティング特殊演習（編集）B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ライティング特殊演習（情報発信）A	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ライティング特殊演習（情報発信）B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ライティング特殊演習（批評）A	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	ライティング特殊演習（批評）B	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
実 習	映像表現実習	1	4 単 位 以 上	3・4	春学期	令和9年度開講	
	デジタル表現実習	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	マンガ・イラスト制作実習	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	ブック・デザイン実習	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	アート&デザイン実習	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
	パフォーマンス実習	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	写真表現実習	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
演 習	現代文化表現学演習ⅠA*	1	1 単 位	3	春学期	令和9年度開講	卒業論文・卒業研究指導を含む。 演習ⅡBは、演習ⅡAの修得を履修の要件とする。
	現代文化表現学演習ⅠB*	1	1 単 位	3	秋学期	令和9年度開講	
	現代文化表現学演習ⅡA*	1	1 単 位	4	春学期	令和10年度開講	
	現代文化表現学演習ⅡB*	1	1 単 位	4	秋学期	令和10年度開講	
卒 業 研 究 文	卒業論文・卒業研究	2	2 単 位	4	通年集中	令和10年度開講	

* 印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時は予め登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室に問い合わせてください。

マネジメント学部

■ マネジメント学部基礎科目の履修

マネジメント学部基礎科目は、マネジメント学部の学生の卒業に必要な学部専門科目の単位として算入することができます。

マネジメント学部基礎科目【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
講 義	マネジメント学入門	2	2単位	1	春学期	佐藤 千里	
	社会科学入門	2	選 択	1・2	春学期	崔 汀我	
	持続可能な経営	2		1・2	秋学期	伊藤 由宣	
	女性の生活マネジメント	2		1・2	秋学期	光畑 由佳	
	機械学習とAI	2		1・2	秋学期	柴田 徹	
	ニュースで学ぶ現代社会	2		1・2	秋学期	山田 秀樹	
	就業体験入門	2		2	春学期	澤田 裕美	就業体験（マネジメント）履修要件 就業体験（生活環境）履修要件

マネジメント学部基礎科目【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
講 義	マネジメント学	2	展 開 科 目 と 合 わ せ て 26 単 位 以 上	3・4	春学期	令和9年度開講	
	マネジメントと女性リーダー	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ESG経営	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	女性のキャリアデザイン	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	リスクマネジメント論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	日本の財政	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ビジネス統計	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	社会保障論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ファッションビジネス	2				令和9年度開講	
	食ビジネス	2				令和9年度開講	
	住宅供給論	2				令和9年度開講	

■ マネジメント学部専門科目の履修

1. マネジメント学科専門科目

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備 考
前期課程	基 幹 科 目	6単位以上	選択必修2単位以上を含む
	演 習	2単位	
	実 習	選 択	
	マネジメント学部基礎科目	2単位以上	「マネジメント学入門」2単位は必修
前期課程合計		20単位	前期課程要件10単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部基礎科目または学科専門科目）10単位以上を修得する。なお、20単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目（学部基礎科目及び学科専門科目）の単位として算入することはできない。
後期課程	展 開 科 目	26単位以上	
	マネジメント学部基礎科目		
	演 習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
後期課程合計		46単位	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部基礎科目または学科専門科目）14単位以上を修得する。なお、46単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程で修得した前期課程の学部専門科目（学部基礎科目及び学科専門科目）並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位	

マネジメント学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
基 幹 科 目	企業マネジメント入門	2	2 単位 以上	1・2	春学期	丸岡 吉人	
	公共マネジメント入門	2		1・2	春学期	山田 秀樹	
	文化マネジメント入門	2	6 単位 以上 選 択	1・2	春学期	曾田 修司	
	企業会計入門	2		1・2	春学期	鈴木 和哉	
	マーケティング入門	2		1・2	春学期	肖 栄	
	人的資源管理入門	2		1・2	秋学期	崔 勝渙	
	中小企業論入門	2		1・2	春学期	許 伸江	
	コーポレートガバナンス入門	2		1・2	秋学期	板越 正彦	
	金融入門	2		1・2	春学期	櫻川 幸恵	
	経済学入門	2		1・2	春学期	山澤 成康	
	日本経済入門	2		1・2	秋学期	山田 秀樹	
	私法入門	2		1・2	春学期	齋田 統	
	民法入門	2		1・2	秋学期	齋田 統	
	憲法入門	2		1・2	秋学期	兼頭ゆみ子	
	行政学入門	2		1・2	秋学期	鷹 咲子	
	地方自治論入門	2		1・2	秋学期	鈴木 克洋	
	文化とまちづくり入門	2		1・2	春学期	吉川 侑輝	
	NPO入門	2		1・2	秋学期	古川 晶子	
	アートと経済社会入門	2		1・2	春学期	横堀 応彦	
演 習	マネジメント実践演習（経営）A＊	1	2 単位	2	春学期	崔 勝渙	
	マネジメント実践演習（経営）B＊	1		2	秋学期	佐藤 敦	
	マネジメント実践演習（経営）C＊	1		2	秋学期	佐藤 千里	
	マネジメント実践演習（マーケティング）A＊	1		2	春学期	丸岡 吉人	
	マネジメント実践演習（マーケティング）B＊	1		2	秋学期	肖 栄	
	マネジメント実践演習（起業）＊	1		2	春学期	許 伸江	
	マネジメント実践演習（経済）A＊	1		2	春学期	山澤 成康	
	マネジメント実践演習（経済）B＊	1		2	秋学期	櫻川 幸恵	
	マネジメント実践演習（政策）A＊	1		2	春学期	鷹 咲子	
	マネジメント実践演習（政策）B＊	1		2	秋学期	山田 秀樹	
	マネジメント実践演習（法律）A＊	1		2	春学期	齋田 統	
	マネジメント実践演習（法律）B＊	1		2	秋学期	高橋 聖子	
	マネジメント実践演習（文化）A＊	1		2	春学期	吉川 侑輝	
	マネジメント実践演習（文化）B＊	1		2	秋学期	曾田 修司	
	マネジメント実践演習（芸術）A＊	1		2	春学期	横堀 応彦	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
演 習	マネジメント実践演習（芸術）B *	1	2 単位	2	秋学期	吉川 侑輝	
	マネジメント実践演習（情報）*	1		2	秋学期	佐藤 千里	
実 習	就業体験（マネジメント）*	1	選 択	2	春学期	鷹 咲子、許 仲江 櫻川 幸恵、吉川 侑輝	

* 印の科目は、前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。

マネジメント学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
展 開 科 目	経営史	2	学部基礎科目（後期課程）と合わせて26単位以上	3・4	秋学期	令和9年度開講	
	経営戦略論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	経営組織論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	グローバル経営論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ブランドマネジメント	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	人的資源管理論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	経営分析論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	財務会計論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	起業論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	中小企業論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	オペレーションズ・リサーチ	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	社会科学のためのデータ分析	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	デジタルマーケティング	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	マーケティングコミュニケーション	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	消費者行動論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	金融論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	コーポレートファイナンス	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ファイナンシャルプランニング	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	経営心理学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	マクロ経済学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ミクロ経済学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	経済政策	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	行動経済学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	国際経済学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	アジアの経済	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	労働経済学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	情報処理システム	2		3・4	春学期	令和9年度開講	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
展 開 科 目	企業メセナとフィランソロピー	2	学部基礎科目 (後期課程) と合わせて26単位以上	3・4	秋学期	令和9年度開講	
	広報マネジメント	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	契約法制総論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	契約法制各論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	不動産法	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	会社法株式論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	会社法ガバナンス論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	事例で学ぶ憲法	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	行政法	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	女性と公共マネジメント	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	行政学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	地方自治論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	社会政策	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	アートマネジメント	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	芸術文化と著作権	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	文化経済学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	文化政策	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	国際文化政策	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	アートフェスティバル論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	芸術文化とNPO	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	メディア芸術産業論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	舞台芸術産業論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	音楽芸術産業論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
演 習	展開ゼミナールⅠA*	1	1単位	3	春学期	令和9年度開講	展開ゼミナールⅡBは、展開ゼミナールⅡAの修得を履修の要件とする。
	展開ゼミナールⅠB*	1	1単位	3	秋学期	令和9年度開講	
	展開ゼミナールⅡA*	1	1単位	4	春学期	令和10年度開講	
	展開ゼミナールⅡB*	1	1単位	4	秋学期	令和10年度開講	
卒業論文・研究	卒業論文・卒業研究	2	2単位	4	—	令和10年度開講	

* の科目は前年度中に各学部において実施する事前振り分け等に申請する必要があります。なお、Web履修登録申請時はあらかじめ登録されています。登録されていない場合は、各学部研究室に問い合わせてください。

観光コミュニティ学部

■観光コミュニティ学部基礎科目の履修

観光コミュニティ学部基礎科目は、観光コミュニティ学部の学生の卒業に必要な学部専門科目の単位として算入することができます。

観光コミュニティ学部基礎科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
講 義	むさしの学	2	選 択	1・2	春学期	三原 昌巳	
	少子高齢化論	2		1・2	秋学期	中村真理子	
	社会調査入門	2		1・2	春学期	李 侖姫	
	社会をデザインする女性たち	2		1・2	秋学期	古川 晶子	
	社会調査法	2		1・2	秋学期	藤本 隆史	
	データの読み方	2		1・2	春学期	李 侖姫	
	社会統計学	2		1・2	秋学期	藤本 隆史	
	まちづくり入門	2		1・2	春学期	篠崎 健司	
	フィールドスタディ論	2		1・2	秋学期	土居 洋平	
特殊演習	観光国家資格取得特殊演習 A	1	選 択	1・2	春学期	責任者：中村 仁 鹿沼 歩 下川 雄大 福原 美穂	
実 習	観光まちづくり実習 I	1		1・2	秋学期	篠崎 健司	

観光コミュニティ学部基礎科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
講 義	ぶんきょう学	2	選 択	3・4	春学期	令和9年度開講	
	NPO・NGO論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	取材学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	イベント・コンベンション論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	多変量解析の基礎	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	質的調査法	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	英語で学ぶ観光	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	中国語で学ぶ観光	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	朝鮮・韓国語で学ぶ観光	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
				3・4	秋学期	令和9年度開講	
特 殊 演 習	観光デザイナー特殊演習	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
				3・4	秋学期	令和9年度開講	
	観光国家資格取得特殊演習B	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
実 習	観光まちづくり実習Ⅱ	1	選 択	3・4	春学期	令和9年度開講	
	ブライダル・コーディネート実務実習	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	エアライン実務実習	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
				3・4	秋学期	令和9年度開講	
	ホテル実務実習	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
				3・4	秋学期	令和9年度開講	
	社会調査実習Ⅰ	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	社会調査実習Ⅱ	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	

【社会調査士課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
社 会 調 査 士 課 程	A 社会調査入門	2	選 択	1・2	春学期	李 侖姫	
	B 社会調査法	2		1・2	秋学期	藤本 隆史	
	C データの読み方	2		1・2	春学期	李 侖姫	
	D 社会統計学	2		1・2	秋学期	藤本 隆史	
	E 多変量解析法	2		3・4	春学期	令和9年度開講	【E・Fはどちらかを選択】
	F 質的調査法	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	【E・Fはどちらかを選択】
	G 社会調査実習Ⅰ	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	社会調査実習Ⅱ	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	

■ 観光コミュニティ学部専門科目の履修

1. 観光デザイン学科専門科目

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備考
前期課程	基幹科目	10単位以上	必修6単位を含む
	演習	1単位以上	「基礎ゼミナール（観光）」1単位は必修
	観光コミュニティ学部基礎科目	選択	
前期課程合計		20単位	前期課程要件11単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目（学部基礎科目または学科専門科目）9単位以上を修得する。なお、20単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目（学部基礎科目及び学科専門科目）の単位として算入することはできない。
後期課程	展開科目	26単位以上	
	演習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
	観光コミュニティ学部基礎科目	選択	
後期課程合計		46単位	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目（学部基礎科目または学科専門科目）14単位以上を修得する。なお、46単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程で修得した前期課程の学部基礎科目及び学科専門科目並びに他学部専門科目の単位を算入することはできない。ただし、後期課程生として修得した前期課程の自学科の基幹科目6単位を含めることができる。
合計修得単位数		66単位	

観光デザイン学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
基 幹 科 目	観光学入門	2	2単位	1	春学期	三原 昌巳	
	観光デザイン入門	2	2単位	1	春学期	篠原 靖	
	経営学	2	2単位	2	秋学期	金 志善	
	観光社会学	2	4 単位 以上	1・2	秋学期	土居 洋平	
	観光人類学	2		1・2	秋学期	塩月 亮子	
	観光地理学	2		1・2	秋学期	三原 昌巳	
	観光経済学	2		1・2	秋学期	渡邊 徹	
	観光ブランドデザイン	2		1・2	秋学期	守屋 邦彦	
	観光経営論	2		1・2	春学期	金 志善	
	比較観光産業史	2		1・2	秋学期	河村 英和	
	観光交通論	2		1・2	秋学期	曾山 毅	
	宿泊産業論	2		1・2	春学期	小関 孝子	
	観光と情報社会	2		1・2	春学期	中村 仁	
演 習	基礎ゼミナール（観光）	1	1単位	2	春学期 秋学期	小関 孝子、河村 英和 金 志善、塩月 亮子 中村 仁	
	キャリアデザイン演習（観光）	1	選択	2	通年集中	小関 孝子、河村 英和 金 志善、塩月 亮子 中村 仁	

観光デザイン学科専門科目課程表【後期課程】

区分		授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
展 開 科 目	グ ロ ー バ ル ツ ー リ ズ ム	グローバルツーリズム	2	26 単位 以上	3・4	春学期	令和9年度開講	
		各国観光事情	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		観光メディア論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		ホスピタリティデザイン	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		グローバル観光デザイン	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		航空産業論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		旅行産業論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		コンベンション管理（MICE）	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		観光法規・倫理	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		空港経営論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	観 光 マ ネ ジ メ ン ト	経営財務論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		事業構想論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		観光財務論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		観光マーケティング	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	

区分		授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
展 開 科 目	観光マネジメント	観光とリスク	2	26 単位 以上	3・4	春学期	令和9年度開講	
		交通経営論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		観光調査論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		観光デザイナー論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		ホテルマネジメント	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		リゾート経営論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	観光コンテンツ	観光コンテンツ	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		祭りと文化	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		宗教人類学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		ニューツーリズム	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		温泉と保養	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		観光史	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		テーマパーク	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		世界遺産研究	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
		ヘリテイジツーリズム	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
		東京観光デザイン	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
演 習	観光デザイン演習Ⅰ A	1	1 単位	3	春学期	令和9年度開講	演習Ⅱ Bは、 演習Ⅱ Aの修 得を履修の要 件とする。	
	観光デザイン演習Ⅰ B	1	1 単位	3	秋学期	令和9年度開講		
	観光デザイン演習Ⅱ A	1	1 単位	4	春学期	令和10年度開講		
	観光デザイン演習Ⅱ B	1	1 単位	4	秋学期	令和10年度開講		
卒業 研究	卒業論文・卒業研究	2	2 単位	4	—	令和10年度開講		

心理学部

■ 心理学部共通専門科目の履修

1. 臨床心理学科専門科目

卒業に必要な専門科目の単位数は、前期課程20単位、後期課程46単位の所定修得単位数を含む66単位で、最低修得単位数は下記のとおりです。

科目区分		修得要件	備 考
前期課程	総 論	12単位以上	必修2科目4単位を含む
	研 究 入 門	2単位	
	実 習	2単位	「心理学実験」は2限連続履修で2単位必修。
前 期 課 程 合 計		20単位	前期課程要件16単位を修得し、加えて前期課程の学部専門科目4単位以上を修得する。なお、20単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程の学部専門科目の単位として算入することはできない。
後期課程	各 論	24単位以上	
	特 殊 演 習	2単位以上	特殊演習及び実習の授業科目から、合計2単位以上を修得する。
	実 習		
	演 習	4単位	
	卒業論文・卒業研究	2単位	
後 期 課 程 合 計		46単位	後期課程要件32単位を修得し、加えて後期課程の学部専門科目14単位以上を修得する。なお、46単位を超えて修得した単位は自由選択区分として算入する。 ※後期課程で修得した前期課程の学部専門科目及び他学部専門科目の単位を算入することはできない。
合 計 修 得 単 位 数		66単位	

臨床心理学科専門科目課程表【前期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
総 論	心理学概論	2	2単位	1	春学期	金山 裕望	心理実習A・B履修要件
	臨床心理学概論	2	2単位	1	秋学期	酒井 佳永	心理実習A・B履修要件
	心理学研究法	2	8 単位 以上	1・2	秋学期	稲吉 玲美	心理実習A・B履修要件
	知覚・認知心理学	2		1・2	春学期	飯高 晶子	心理実習A・B履修要件
	学習・言語心理学	2		1・2	春学期	並木 崇浩	心理実習A・B履修要件
	発達心理学	2		1・2	春学期	金山 裕望	心理実習A・B履修要件
	社会・集団・家族心理学	2		1・2	秋学期	岩熊麻由美	心理実習A・B履修要件
	心理学史	2		1・2	秋学期	飯高 晶子	
	教育・学校心理学	2		1・2	春学期	東 宏行	心理実習A・B履修要件
	健康教育概論	2		1・2	秋学期	三浦 佳代	
	人体の構造と機能及び疾病	2		1・2	春学期	宮岡 佳子	心理実習A・B履修要件
	人間関係の心理学	2		1・2	秋学期	板越 正彦	
	キャリアカウンセリング	2		1・2	秋学期	稲吉 玲美	
研究 入門	心理学統計法	2	2単位	2	春学期 秋学期	稲吉 玲美	心理実習A・B履修要件
実 習	心理学実験	2	2単位	2	春学期 秋学期	岡本 潤子	2限連続 心理実習A・B履修要件

臨床心理学科専門科目課程表【後期課程】

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
各 論	神経・生理心理学	2	24 単位 以上	3・4	春学期	令和9年度開講	
	視覚と芸術の心理学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	感情・人格心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	言語心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	思考心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	青年期の発達心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	高齢者の心理学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	心理学的支援法	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	力動論的アプローチ	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	認知行動療法	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	家族療法論	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	心理教育的アセスメント	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	健康心理アセスメント	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	データ解析	2		3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
	実験計画法	2		3・4	春学期 秋学期	令和9年度開講	
	公認心理師の職責	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	関係行政論	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	学校臨床心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	発達障害の心理と指導援助	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	健康・医療心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	健康心理カウンセリング	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	福祉心理学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	障害者・障害児心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	産業・組織心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	司法・犯罪心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	精神疾患とその治療	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	コミュニティ心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	新世代の心理学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	化粧の心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	
	装いの心理学	2		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	恋愛の心理学	2		3・4	春学期	令和9年度開講	

区分	授 業 科 目	単位	必要単位	履修年次	開講期	担 当 教 員	備 考
特殊演習	心理演習	1	2 単位以上	3	春学期	令和9年度開講	共同 心理実習A履 修要件
	遊戯・芸術療法	1		3・4	秋学期	令和9年度開講	
	心理的アセスメント	1		3・4	春学期	令和9年度開講	
実 習	健康心理アセスメント実習	2		3・4	春学期	令和9年度開講	2限連続
	心理実習A	1		3	秋学期	令和9年度開講	共同（保健医 療分野ほか）
	心理実習B	1		3	春学期	令和9年度開講	共同（教育分 野ほか） 心理実習A履 修要件
	心理学臨地実習	1		3・4	春学期	令和9年度開講	共同
演 習	臨床心理学演習ⅠA	1	1 単位	3	春学期	令和9年度開講	
	臨床心理学演習ⅠB	1	1 単位	3	秋学期	令和9年度開講	
	臨床心理学演習ⅡA	1	1 単位	4	春学期	令和10年度開講	
	臨床心理学演習ⅡB	1	1 単位	4	秋学期	令和10年度開講	演習ⅡBは、 演習ⅡAの修 得を履修の要 件とする。
卒業論文・ 卒業研究	卒業論文・卒業研究	2	2 単位	4	通年集中	令和10年度開講	

資格取得課程

「資格課程」は、大学を卒業する（学士の学位を取得する）ための授業体系とは別の、各種の資格を取得するための授業体系です。それぞれの資格は、基礎資格として学士の学位を有することを条件づけているので、学生は「大学を卒業する」ことを目指さなければなりません。

【本学で設置している資格取得課程】

- ①教職課程（中学校教諭一種免許状および高等学校教諭一種免許状を取得する者のための課程）
- ②司書課程（図書館の司書の資格を取得する者のための課程）
- ③司書教諭課程（学校図書館の司書教諭の資格を取得する者のための課程）
- ④学芸員課程（博物館において学芸員となるための資格を取得する者のための課程）
- ⑤社会調査士課程（社会調査協会の認定する社会調査の知識や技術を用いて社会事象をとらえる専門家としての資格を取得するための課程）

【学部学科で取得できる資格課程】

学 部	学 科	教職課程	司書課程	司書教諭課程	学芸員課程	社会調査士
文 学 部	人文学科	○	○	○	○	
	現代文化表現学科		○		○	
マネジメント学部	マネジメント学科		○		○	
観光コミュニティ学部	観光デザイン学科		○			○
心理学部	臨床心理学科		○			

教職課程、司書教諭課程、学芸員課程については、文学部人文学科に所属しない学生であっても「資格に関する授業科目の履修を許可する文学部基準」（学生便覧参照）に定める要件を満たしている場合は、履修を認められることがあります。ただし、各所属学科において履修すべき科目との重複、各課程の内容に関連する卒業論文・卒業研究の作成（4年次に「人文学演習ⅡA・ⅡB」の履修が必要。ただし博物館実習運営会議及び全学教務委員会の議を経て指定された専門分野に関する演習科目を、「人文学演習ⅡA・ⅡB」に読み替えることができる。）その他、履修には相当の困難がともなうことを承知しておいてください。

①教職課程

(a) 本学で取得できる免許状の種類

学 部	学 科	免 許 状		
		教 科	高等学校	中 学 校
文 学 部	人 文 学 科	国 語	一 種	一 種
		書 道	一 種	
		社 会		一 種
		地理歴史	一 種	

(b) 免許状の種類、基礎資格および最低修得単位数

免許の種類	基礎資格	法令に定める大学における最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭 一種免許	学士の学位	28	27 (本学では別表2の通り) 入学年度別に定める	4
高等学校教諭 一種免許状	学士の学位	24	23 (本学では別表2の通り) 入学年度別に定める	12

(イ)「全学共通科目」における履修科目の指定

教職課程履修者は、「教育職員免許法施行規則第66条の6」により、上記の他、次の科目を選択しなければならない（前期課程中に修得すること）。

免許法施行規則に定める科目	対応する本学授業科目
日本国憲法 2単位	日本国憲法
外国語コミュニケーション 2単位	英語AⅠa、英語AⅠb、英語BⅠa、英語BⅠb、フランス語Ⅰ、ドイツ語Ⅰ、中国語Ⅰ、朝鮮・韓国語Ⅰから2単位
体育 2単位	体育実技科目から2科目
数理・データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位	データサイエンス基礎、情報リテラシー基礎の2科目

(ロ)「教科及び教科の指導法に関する科目」

「教科及び教科の指導法に関する科目」は、教科にかかわる専門分野の学問的知識を得るための科目群であり、基本的には、当該免許教科を開設する学科の専門科目である。そのため、当該学科の卒業に必要な科目であり、かつ、当該教科の免許状を取得するためにも必要な科目、ということになる。

「教科及び教科の指導法に関する科目」は、最低でも中学一種免許で28単位、高等学校一種免許で24単位を修得しなければならないが、別表1の各表に示された「免許法施行規則に定める科目区分」の単位が、各欄にわたり必ず1単位以上含まれていなければならない。

(ハ)「教育の基礎的理解に関する科目等」

「教育の基礎的理解に関する科目等」は、学校種、教科にかかわらず、教え方や生徒とのふれあいを重視し、教員として学校教育活動の遂行に直接資するための科目で、現在の学校教育の現場が抱えるさまざまな状況・課題に対して適切に対応でき、学校教育の担い手としての教員の役割・重要性をよく認識できる、総合的力のある人材の育成を目的としたものである。

具体的な科目名、含めることが必要な要件等については、別表2に入学年度別に示している。

(二)「大学が独自に設定する科目」

教員として最小限必要な資質能力を確実に身につけさせるために「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等」の区分を設けるとともに、更に積極的に得意分野や個性の伸長を進めるために「大学が独自に設定する科目」の区分が設けられている。

したがって、必要を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」あるいは「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数をもって充足することもできるが、設置の趣旨を踏まえて意欲的に修得することが望まれる。

なお、本学で開設している科目については、別表3に示している。

別表1 教科及び教科の指導法に関する科目

中学校一種 国語

※1印の付いた科目については、文学部共通専門科目を参照すること。

施行規則に定める科目区分等			本学の開講・履修				
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目 (最低修得単位数) 計28単位以上	教科に関する専門的事項 (最低修得単位数) 20単位以上	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) (最低修得単位数) 各1単位以上	国語学概論	2		1・2	
			国語音声学	2		3・4	
			日本語文章表現	2		3・4	
			国語史		2	3・4	
			朗読法 ※1		2	3・4	
		国文学 (国文学史を含む。) (最低修得単位数) 各1単位以上	日本文学概論	2		1・2	
			日本文学史	2		1・2	
			古代日本文学		2	3・4	
			中世日本文学		2	3・4	
			近世日本文学		2	3・4	
			近代日本文学		2	3・4	
			創作ライティング演習C(短歌)		1	3・4	
			創作ライティング演習D(俳句)		1	3・4	
		漢文学 (最低修得単位数) 各1単位以上	漢文学	2		3・4	
			中国文学概論		2	1・2	
		書道 (書写を中心とする。) (最低修得単位数) 各1単位以上	書道基礎実習AⅠ(入門)	1		1・2	
			書道基礎実習AⅡ(応用)	1		1・2	
			書道基礎実習B(楷書)		1	1・2	
			書道基礎実習C(行書)		1	1・2	
			書道史		2	1・2	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		国語科教育法A	2		3	
			国語科教育法B	2		3	
			国語科教材論A	2		3	
			国語科教材論B	2		3	

* 教科及び教科の指導法に関する科目計28単位以上修得する。

* 教科に関する専門的事項の各欄にわたり各1単位以上、計20単位以上を修得する。

* 開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。なお、※1印の付いた科目の担当教員については、文学部共通専門科目を参照すること。

* 国語科教育法B・国語科教材論Bは、それぞれのAの修得を履修の要件とする。

高等学校一種 国語

※ 1 印の付いた科目については、文学部共通専門科目を参照すること。

施行規則に定める科目区分等			本学の開講・履修				
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) (最低修得単位数) 各 1 単位以上	国語学概論	2		1・2	
			国語音声学	2		3・4	
			日本語文章表現	2		3・4	
			国語史		2	3・4	
			朗読法 ※ 1		2	3・4	
		国文学 (国文学史を含む。) (最低修得単位数) 各 1 単位以上	日本文学概論	2		1・2	
			日本文学史	2		1・2	
			古代日本文学		2	3・4	
			中世日本文学		2	3・4	
			近世日本文学		2	3・4	
			近代日本文学		2	3・4	
			創作ライティング演習 C (短歌)		1	3・4	
			創作ライティング演習 D (俳句)		1	3・4	
	(最低修得単位数) 20単位以上	漢文学 (最低修得単位数) 各 1 単位以上	漢文学	2		3・4	
			中国文学概論		2	1・2	
(最低修得単位数) 計24単位以上	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		国語科教育法 A	2		3	
			国語科教育法 B	2		3	

* 教科及び教科の指導法に関する科目計24単位以上修得する。

* 教科に関する専門的事項の各欄にわたり各 1 単位以上、計20単位以上を修得する。

* 開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。なお、※ 1 印の付いた科目の担当教員については、文学部共通専門科目を参照すること。

* 国語科教育法 B は、A の修得を履修の要件とする。

高等学校一種 書道

施行規則に定める科目区分等			本学の開講・履修						
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考		
				必	選				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	書道 (書写を含む。) (最低修得単位数) 各1単位以上	書道基礎実習AⅠ（入門）	1		1・2			
			書道基礎実習AⅡ（応用）	1		1・2			
			書道基礎実習B（楷書）	1		1・2			
			書道基礎実習C（行書）	1		1・2			
			書道実習A（草書）	1		3・4			
			書道実習B（隸書）	1		3・4			
			書道実習C（篆書・篆刻）	1		3・4			
			書道実習D（仮名）	1		3・4			
			書道実習E（漢字仮名交じり）	1		3・4			
			書道実習F（実用書法）		1	3・4			
		書道史 (最低修得単位数) 各1単位以上	書道史	2		1・2			
		「書論、鑑賞」 (最低修得単位数) 各1単位以上	書論		2	3・4		これらの2科目から1科目2単位選択必修	
			書芸術の鑑賞		2	1・2			
		「国文学、漢文学」 (最低修得単位数) 20単位以上	(最低修得単位数) 各1単位以上	日本文学概論		2		1・2	これらの2科目から1科目2単位選択必修
				漢文学		2		3・4	
				日本文学史		2		1・2	
				古代日本文学		2		3・4	
				中世日本文学		2		3・4	
				近世日本文学		2		3・4	
	近代日本文学				2	3・4			
	中国文学概論		2	1・2					
(最低修得単位数) 計24単位以上	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		書道科教育法A	2		3			
		書道科教育法B	2		3				

* 教科及び教科の指導法に関する科目計24単位以上修得する。

* 教科に関する専門的事項の各欄にわたり各1単位以上、計20単位以上を修得する。

* 開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。

* 書道科教育法Bは、Aの修得を履修の要件とする。

中学校一種 社会

※1の付いた科目については、全学共通科目を参照すること。

施行規則に定める科目区分等			本学の開講・履修					
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考	
				必	選			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史 (最低修得単位数) 各1単位以上	日本史概説A	2		1・2		
			日本史概説B（近代）	2		1・2		
			日本外交史		2	3・4		
			東洋史概説	2		1・2		
			西洋史概説A	2		1・2		
			西洋史概説B（近代）	2		1・2		
			アメリカ史		2	3・4		
			イスラム史		2	3・4		
			日本文化史		2	3・4		
			中国文化史		2	3・4		
			西洋文化史		2	3・4		
			日本の歴史と社会		2	3・4		
			ヨーロッパの歴史と社会		2	3・4		
			考古学概説		2	1・2		
		地理学 (地誌を含む。) (最低修得単位数) 各1単位以上	地理学概説	2		1・2		
			自然地理学	2		3・4		
			地誌学	2		3・4		
			人文地理学		2	3・4		
			民俗学		2	1・2		
			文化人類学		2	1・2		
		「法学、政治学」 (最低修得単位数) 各1単位以上	法学 ※1		2	1・2		} いずれか2科目 をこの組み合わせ せで選択必修
			国際法 ※1		2	3・4		
			政治学 ※1		2	1・2		
			国際関係学		2	1・2		
		「社会学、経済学」 (最低修得単位数) 各1単位以上	社会学 ※1		2	1・2		} いずれか2科目 をこの組み合わせ せで選択必修
			国際社会論 ※1		2	3・4		
			経済学 ※1		2	1・2		
			国際経済 ※1		2	3・4		
			女性と文化		2	3・4		
			現代日本社会		2	3・4		
			現代アジア社会		2	3・4		
			現代ヨーロッパ社会		2	3・4		
			現代アメリカ社会		2	3・4		
		「哲学、倫理学、宗教学」 (最低修得単位数) 20単位以上 (最低修得単位数) 各1単位以上	哲学概論		2	1・2		} いずれか1科目 選択必修
			倫理学概論		2	1・2		
			世界の宗教		2	3・4		
			日本思想史		2	3・4		
			中国哲学史		2	3・4		
(最低修得単位数) 計28単位以上	社会科教育法A		2		3			
	社会科教育法B		2		3			
	社会科教材論A		2		3			
	社会科教材論B		2		3			

* 教科及び教科の指導法に関する科目計28単位以上修得する。

* 教科に関する専門的事項の各欄にわたり各1単位以上、計20単位以上を修得する。

* 開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。なお、※1印の付いた科目の担当教員については、全学共通科目を参照すること。

* 社会科教育法B・社会科教材論Bは、それぞれのAの修得を履修の要件とする。

高等学校一種 地理歴史

施行規則に定める科目区分等			本学の開講・履修				
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		履修年次	備考
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史 (最低修得単位数) 各1単位以上	日本史概説A	2		1・2	いずれか1科目 選択必修
			日本史概説B（近代）	2		1・2	
			日本外交史		2	3・4	
			日本文化史		2	3・4	
			日本の歴史と社会		2	3・4	
			考古学概説		2	1・2	
		外国史 (最低修得単位数) 各1単位以上	東洋史概説	2		1・2	いずれか1科目 選択必修
			西洋史概説A	2		1・2	
			西洋史概説B（近代）	2		1・2	
			アメリカ史		2	3・4	
			イスラム史		2	3・4	
			中国文化史		2	3・4	
			西洋文化史		2	3・4	
			ヨーロッパの歴史と社会		2	3・4	
		人文地理学・ 自然地理学 (最低修得単位数) 各1単位以上	地理学概説	2		1・2	
			自然地理学	2		3・4	
			人文地理学	2		3・4	
		地誌 (最低修得単位数) 各1単位以上	地誌学	2		3・4	
			民俗学		2	1・2	
			伝承文化論		2	3・4	
			文化人類学		2	1・2	
	(最低修得単位数) 計24単位以上	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		2		3	
				2		3	

* 教科及び教科の指導法に関する科目計24単位以上修得する。

* 教科に関する専門的事項の各欄にわたり各1単位以上、計20単位以上を修得する。

* 開設科目の担当教員については、文学部人文学科専門科目を参照すること。

* 地理歴史科教育法Bは、Aの修得を履修の要件とする。

別表2 教育の基礎的理解に関する科目等

※1印の付いた科目については、文学部人文学科の専門科目を参照すること。

施行規則に定める科目区分等			本学の開講・履修						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	開講期	担当教員	単位数		履修年次	履修方法等
						必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 ※1	春学期 秋学期	鈴木 芳明	2		1・2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	春学期 秋学期	大高 皇	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度及び教育法規	春学期 秋学期	鈴木 廣志	2		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 ※1	春学期 秋学期	河村 昭博	2		1	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援を必要とする生徒理解	春学期 秋学期	小島 道生	2		1・2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	春学期 秋学期	北村 博	2		3	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中・10 高・8	道徳教育指導論	春学期 秋学期	北村 博	2		2	中免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法	春学期 秋学期	鈴木 廣志	2		1・2	
	特別活動の指導法		（特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法）	—	—	—		—	
	教育の方法及び技術		教育の方法及び技術	春学期 秋学期	横田 恭三	2		1・2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育とICT活用	秋学期	大高 皇 二宮 裕之	1		1・2	令和4年度以降の入学生のみ適用（必修科目）
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導	春学期 秋学期	東 宏行	2		1・2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談及びカウンセリング	春学期 秋学期	高島英公子	2		1・2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		（生徒指導及び進路指導）	—	—	—		—	
教育実践に関する科目	教育実習	中・5 高・3	教育実習（中・高）	春学期 秋学期	北村 博 鈴木 芳明 茂木 一司 香取 潤哉		5	4	中免は教育実習（中・高）必修。高免は教育実習（中・高）もしくは教育実習（高）選択必修。事前・事後指導1単位を含む
			教育実習（高）	春学期 秋学期	北村 博 鈴木 芳明 茂木 一司 香取 潤哉		3	4	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	秋学期	鈴木 芳明	2		4	
法令に定める最低修得単位数 中免27単位 高免23単位			本学の定める最低修得単位数 中免30単位 高免26単位						

- (注) 1. 「教育の基礎的理解に関する科目等」については、教員資格取得に向けての必要不可欠な授業科目であることを踏まえて成績評価を実施し、再評価は行わない。ただし、所属学部の卒業要件となる科目（※1印を付した）については、成績の評価及び単位の認定に関する規程に従って再評価を実施する。
2. 「道徳教育指導論」は、中学校教諭一種免許状を取得する場合必修科目である。（高等学校教諭一種免許状においては、大学が独自に設定する科目（別表3）参照のこと。
3. 中学校教諭一種免許状を取得する場合（中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状の両方を取得する場合も含む）については、「教育実習（中・高）」は必修科目である。高等学校教諭一種免許状のみを取得する場合は、「教育実習（中・高）」もしくは「教育実習（高）」が選択必修科目である。
4. 中学校教諭一種免許状を取得する場合は、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（平成9年法律第90号）及び「同法施行規則」の施行により、大学における所要科目の履修のほかに、特別支援学校及び社会福祉施設における7日間以上の「介護等体験」を行うことが義務付けられている。なお、高等学校教諭一種免許状のみを取得しようとする場合は、「介護等体験」を行う必要はない。
5. 「教育実習」
- ・2年次終了時までに、前期課程で修得すべき「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位を修得していること。
 - ・教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目をすべて修得していること（P119）。
 - ・卒業見込み年度の学生であって、3年次秋学期末までに修得すべき「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をすべて修得した者でなければ履修できない。
 - ・3年次秋学期末までに当該教員免許の「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、「各教科の指導法」必修科目を含め中学校では18単位、高等学校では14単位以上修得していなければ実習校での教育実習を許可しない。また、所定の単位数を修得していても既修得科目の成績によっては、教育実習を認めない、あるいは実習校を斡旋しないことがある。
 - ・「教育実習」を履修する者は、最終学年次に採用を希望する都道府県・政令指定都市の教育委員会が実施する教員採用試験あるいは私立学校教員適性検査等を受験しなければならない。
 - ・「教育実習（中・高）」は3～4週間の実習、「教育実習（高）」は2週間の実習を行う。なお、実習期間中の就職活動は禁止する。就職活動を優先する者は履修しないこと。
 - ・「教育実習（中・高）」「教育実習（高）」いずれの場合も、事前・事後の指導の1単位を含んでいる。教育実習の単位を修得するには、この事前・事後の指導に出席することが要件となる。
 - ・事前・事後指導等は、下記のように2年次秋学期から実施される。「教育実習」のシラバスに当該年度の日程を記載してあるので、よく読んでおくこと。
 - 2年生：「介護等体験」事前指導（第1回）
 - 3年生：「介護等体験」事前指導（第2回）
 - 4年生：「教育実習」事前指導（第5回・第6回）
 - ・事前指導を1回でも欠席した場合は、「教育実習」を行うことができない。また、事後指導を欠席した場合は、実習そのものは終了していても、事前・事後指導1単位分の単位が不足となるため、「教育実習の単位」は修得できない。
- ただし、以下に該当するものは、事後に特別にガイダンスを受けることができる。
- ① 忌引・病気等のため、教育実習担当教員へ届出書または診断書を提出し、許可を得たもの。
 - ② 欠席事由について、交通事情等の不可抗力によるもの、あるいは公的な証明書があるもの。
6. 教育実習や介護等体験による通常授業欠席届、教職課程履修上の各種届出書類は、提出締切り期日以降は、一切受理しないので注意すること。
7. 教職課程履修者は、4年次に取得を希望する教員免許状の教科に関連した文学部人文学科の「卒業論文・卒業研究」を提出しなければならないので、文学部人文学科以外の希望者も含めて、4年次に「人文学演習ⅡA・ⅡB」の履修が必要となる。
8. 「教職実践演習」は、教職課程取得に必要なすべての科目を修得済み、あるいは、その年次に修得見込みの学生でなければ履修できない。

別表3 大学が独自に設定する科目

- ※1印の付いた科目については、文学部共通専門科目を参照すること。
 ※2印の付いた科目については、全学共通科目を参照すること。
 ※3印の付いた科目については、文学部人文学科専門科目を参照すること。
 ※4印の付いた科目については、資格課程（学芸員課程）科目を参照すること。
 ※5印の付いた科目については、資格課程（司書教諭課程）科目を参照すること。

中学校一種 国語

免許法施行規則に定める科目区分		本学の開講・履修			
科目区分	授業科目	単位数		履修年次	履修方法等
		必	選		
大学が独自に設定する科目	図書館概論 ※1		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（28単位）を超えて履修した単位数 ＋ 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数 合計 4単位以上
	生涯学習概論 ※2		2	1・2	
	博物館概論 ※3		2	1・2	
	博物館情報・メディア論 ※4		2	3・4	
	博物館教育論 ※4		2	3・4	
	教育学概論 ※3		2	3・4	
	学校経営と学校図書館 ※5		2	3・4	
	学習指導と学校図書館 ※5		2	3・4	
	情報メディアの活用 ※5		2	3・4	

高等学校一種 国語

免許法施行規則に定める科目区分		本学の開講・履修			
科目区分	授業科目	単位数		履修年次	履修方法等
		必	選		
大学が独自に設定する科目	道徳教育指導論		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（24単位）を超えて履修した単位数 ＋ 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数 合計 12単位以上
	図書館概論 ※1		2	1・2	
	生涯学習概論 ※2		2	1・2	
	博物館概論 ※3		2	1・2	
	国語科教材論A		2	3・4	
	国語科教材論B		2	3・4	
	博物館情報・メディア論 ※4		2	3・4	
	博物館教育論 ※4		2	3・4	
	教育学概論 ※3		2	3・4	
	学校経営と学校図書館 ※5		2	3・4	
	学習指導と学校図書館 ※5		2	3・4	
	情報メディアの活用 ※5		2	3・4	

高等学校一種 書道

免許法施行規則に定める科目区分		本学の開講・履修			
科目区分	授業科目	単位数		履修年次	履修方法等
		必	選		
大学が独自に設定する科目	道徳教育指導論		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（24単位）を超えて履修した単位数 ＋ 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数 合計 12単位以上
	図書館概論 ※ 1		2	1・2	
	生涯学習概論 ※ 2		2	1・2	
	博物館概論 ※ 3		2	1・2	
	博物館情報・メディア論 ※ 4		2	3・4	
	博物館教育論 ※ 4		2	3・4	
	教育学概論 ※ 3		2	3・4	
	学校経営と学校図書館 ※ 5		2	3・4	
	学習指導と学校図書館 ※ 5		2	3・4	
	情報メディアの活用 ※ 5		2	3・4	

中学校一種 社会

免許法施行規則に定める科目区分		本学の開講・履修			
科目区分	授業科目	単位数		履修年次	履修方法等
		必	選		
大学が独自に設定する科目	図書館概論 ※ 1		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（28単位）を超えて履修した単位数 ＋ 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数 合計 4単位以上
	生涯学習概論 ※ 2		2	1・2	
	博物館概論 ※ 3		2	1・2	
	博物館情報・メディア論 ※ 4		2	3・4	
	博物館教育論 ※ 4		2	3・4	
	教育学概論 ※ 3		2	3・4	
	学校経営と学校図書館 ※ 5		2	3・4	
	学習指導と学校図書館 ※ 5		2	3・4	
	情報メディアの活用 ※ 5		2	3・4	

高等学校一種 地理歴史

免許法施行規則に定める科目区分		本学の開講・履修			
科目区分	授業科目	単位数		履修年次	履修方法等
		必	選		
大学が独自に設定する科目	道德教育指導論		2	1・2	「教科及び教科の指導法に関する科目」について、最低修得単位数（24単位）を超えて履修した単位数 ＋ 「大学が独自に設定する科目」の選択科目の単位数 合計 12単位以上
	図書館概論 ※ 1		2	1・2	
	生涯学習概論 ※ 2		2	1・2	
	博物館概論 ※ 3		2	1・2	
	博物館情報・メディア論 ※ 4		2	3・4	
	博物館教育論 ※ 4		2	3・4	
	教育学概論 ※ 3		2	3・4	
	学校経営と学校図書館 ※ 5		2	3・4	
	学習指導と学校図書館 ※ 5		2	3・4	
	情報メディアの活用 ※ 5		2	3・4	

②司書課程

司書の資格を取得するためには、「図書館法施行規則」に基づき、大学を卒業した上で別表 4 に定める科目の単位を修得しなければならない（平成24年 4 月 1 日より改正実施）。

司書課程については、「図書館が時代の要請に応じ、住民の学習ニーズ等に適切に対応し、情報化をはじめとする社会の急速な変化に的確に対応できるようにするために、図書館に置かれる専門的職員である司書の資質の向上に向け、要請内容の改善・充実を図る」という「図書館法施行規則」の趣旨に基づく司書課程科目を開設している。

別表4 図書館に関する科目

※1印の付いた科目については、全学共通科目を参照すること。

※2印の付いた科目については、文学部共通専門科目を参照すること。

図書館法施行規則に定める 必要科目と単位				本学で開講されている 授業科目と単位		履修 年次	開講期	担当教員
必修科目(甲群)	基礎科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論 ※1	2	1・2	春学期 秋学期	牧野 修也
		図書館概論	2	図書館概論 ※2	2	1・2	春学期 秋学期	水谷 長志
		図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2	1・2	春学期 秋学期	岩崎 れい
		図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	3・4	春学期 秋学期	水谷 長志
	図書館サービスに関する科目	児童サービス論	2	児童サービス論	2	3・4	春学期 秋学期	中川理恵子
		図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	1・2	春学期 秋学期	長谷川幸代
		情報サービス論	2	情報サービス論	2	1・2	春学期 秋学期	岩崎 れい
		情報サービス演習	2	情報サービス演習A ※2	1	3・4	春学期 秋学期	長谷川幸代 増田 元
				情報サービス演習B	1	3・4	春学期 秋学期	中川理恵子 増田 元
	図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	1・2	春学期 秋学期	佐藤 正恵
		情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	1・2	春学期 秋学期	長谷川幸代
		情報資源組織演習	2	情報資源組織演習A	1	3・4	春学期 秋学期	蟹瀬 智弘 長谷川幸代
				情報資源組織演習B	1	3・4	春学期 秋学期	長谷川幸代
選択科目(乙群)	2科目選択	図書・図書館史	1	図書・図書館史 ※2	2	3・4	秋学期	水谷 長志
		図書館基礎特論	1	図書館基礎特論	1	3・4	春学期	水谷 長志
		図書館サービス特論	1	図書館サービス特論	1	3・4	秋学期	長谷川幸代
		図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論	1	3・4	秋学期	長谷川幸代
		図書館施設論	1	図書館施設論	1	3・4	春学期	水谷 長志

- (注) 1. 情報資源組織演習A・Bを履修するには、情報資源組織論を修得することが望ましい。
 2. 情報サービス演習A・Bを履修するには、情報サービス論を修得することが望ましい。
 3. 「司書」の資格には、免許状の類はない。卒業後、有資格者であることを証明する必要の生じた者には、図書館に関する科目の単位修得証明書を発行する。
 4. 「図書館に関する科目」については再評価は行わない。ただし、所属学部の卒業要件となる科目(※1印及び※2印を付した科目)については、成績の評価及び単位の認定に関する規程に従って再評価を実施する。

③司書教諭課程

司書教諭課程は、学校図書館運営の中心となる司書教諭の資格を取得するための課程であり、「学校図書館司書教諭講習規程」に基づき、「教職課程」を取得した上で、さらに別表5に定める科目と単位を修得しなければならない。

司書教諭には、学校図書館が学校の教育活動を支えるための中心として、情報化、国際化の進展等に対応してさらに高機能・多機能化するとともに、健康的な快適な学習空間を創出し、生涯学習時代にふさわしいさまざまな役割を果たすことが求められており、読書活動等を通じて児童生徒の豊かな人間性の育成に関する見識、学校図書館の経営能力、時代の変化に迅速に対応できる情報教育の担い手としての力量や柔軟性、知的探究心、教育課程の展開と各種資料の活用に対する深い理解と見識、児童生徒や教師、地域の人々とのコミュニケーション能力など、多様な資質を備えることが必要とされている。

履修許可条件

- 一．教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目をすべて修得していること（P119）
- 二．前期課程において修得すべき「教育の基礎的理解に関する科目」をすべて修得していること（P126）
- 三．一定の「教科及び教科の指導法に関する科目」を6単位以上修得していること（P121～125）

別表5 司書教諭に関する科目

学校図書館司書教諭講習規程に定める必修科目と単位		本学で開講されている授業科目と単位		履修年次	開講期	担当教員
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	3・4	春学期	横谷 弘美
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	3・4	春学期	横谷 弘美
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	3・4	秋学期	横谷 弘美
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	3・4	秋学期	横谷 弘美
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	3・4	秋学期	水谷 長志

- (注) 1. 本学開設科目はすべて必修である。
2. 司書教諭の修了証書は文部科学大臣が授与する。本学の学生については、大学が「司書教諭講習書類参加」という形で一括申請する。（例年6～7月頃に実施される。）
3. 3年次終了までに上記のすべての科目を修得した者については、4年次に「司書教諭講習書類参加」の申請を行うことで、卒業と同時に修了証書を取得することができる。ただし、その場合、修了証書の効力は、教職の免許状を取得した時点から生じることになるので注意する必要がある。
4. 「司書教諭に関する科目」については再評価は行わない。

④学芸員課程

学芸員になることのできる資格を取得するには、「博物館法施行規則」に基づき、学士の学位を取得（大学を卒業）した上で、別表6に定める科目の単位を修得しなければならない（平成24年4月1日より改正実施）。

学芸員課程については、「学芸員の資質の向上に向け、人々の生涯学習への支援を含め博物館に期待されている諸機能の強化及び情報化等の時代の変化に的確に対応する博物館運営の充実の観点から、その養成に係る教育内容・教育方法の改善・充実を図る」という「博物館法施行規則」の趣旨に基づく学芸員課程を開設している。

別表6 博物館に関する科目

※1印の付いた科目については、全学共通科目を参照すること。

※2印の付いた科目については、文学部人文学科専門科目を参照すること。

博物館法施行規則に定める 必要科目と単位			本学で開講されている 授業科目と単位		履修 年次	開講期	担当教員
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論 ※1	2	1・2	春学期 秋学期	牧野 修也
	博物館概論	2	博物館概論 ※2	2	1・2	春学期 秋学期	栗田 秀法
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	3・4	春学期 秋学期	栗田 秀法
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	3	春学期 秋学期	奥間 政作
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	3	春学期 秋学期	村松 裕美
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	3	春学期 秋学期	新井 久代
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	3	春学期 秋学期	新井 久代
	博物館教育論	2	博物館教育論	2	3	春学期 秋学期	降旗千賀子
	博物館実習	3	博物館実習 A	1	4	春学期 秋学期	新井 久代 栗田 秀法 矢島 新
			博物館実習 B	1	4	春学期	新井 久代 奥間 政作 栗田 秀法
			博物館実習 C	1	4	秋学期	新井 久代 栗田 秀法

本学で開設されている授業科目			単位	履修年次	担当教員
選択科目	文化史	日本文化史	2	3・4	文学部人文学科の専門科目を参照すること。
		中国文化史	2	3・4	
		西洋文化史	2	3・4	
		日本の歴史と社会	2	3・4	
	美術史	日本美術史（鑑賞を含む）A	2	1・2	
		日本美術史（鑑賞を含む）B	2	1・2	
		西洋美術史（鑑賞を含む）A	2	1・2	
		西洋美術史（鑑賞を含む）B	2	1・2	
		東洋美術史（鑑賞を含む）	2	3・4	
		近代美術史（鑑賞を含む）	2	3・4	
		東西美術交流	2	3・4	
		西洋図像学	2	3・4	
	民俗学	民俗学	2	1・2	
		文化人類学	2	1・2	
		伝承文化論	2	3・4	
	その他	考古学概説	2	1・2	
		文化財学	2	3・4	

(注) 1. 選択科目は、各科目名左欄の4つの系列から3系列以上にわたり、各系列よりそれぞれ4単位以上の計12単位以上を修得しなければならない。

2. 「博物館実習」

- ・2年次終了時までに、前期課程で修得すべき「博物館に関する科目」の単位をすべて修得していること。
- ・博物館実習Cは、博物館実習Bの修得を履修の要件とする。
- ・卒業見込み年度の学生であって、3年次終了までに「博物館経営論」を除く必修科目のすべての単位を修得した者でなければ履修できない。

また、4年次で「博物館実習A～C」を履修するためには、3年終了時までに実習希望館別に、下記の表の要件も必要となるので注意すること。なお、下記の要件のほかに行える限り「文化財学」「東洋史概説」も履修すること。

博物館の専攻分野		美術系博物館	歴史・民俗系博物館
文学部人文学科で修得すべき授業科目	1 ～ 2 年	日本美術史（鑑賞を含む）A	民俗学
		日本美術史（鑑賞を含む）B	文化人類学
		西洋美術史（鑑賞を含む）A	日本史概説A
		西洋美術史（鑑賞を含む）B	日本史概説B（近代）
	3 ～ 4 年	近代美術史（鑑賞を含む）	日本文化史
		西洋図像学	西洋文化史
		東西美術交流	伝承文化論

3. 学芸員課程履修者は、4年次に当該専攻分野に関連する卒業論文・卒業研究（演習科目に含まれる時は、これを含む）を履修しなければならない（文学部人文学科の希望者は4年次に「人文学演習ⅡA・ⅡB」の履修が必要となる。文学部人文学科以外の希望者は指定された専門分野に関する演習科目を、「人文学演習ⅡA」及び「人文学演習ⅡB」に読み替えることができる）。
4. 「学芸員になることのできる資格」には、免許状の類はない。卒業後、有資格者であることを証明する必要の生じた者には、博物館に関する科目の単位修得証明書を発行する。
5. 「博物館に関する科目」の必修科目については再評価は行わない。ただし、所属学部卒の卒業要件となる科目（※1印及び※2印を付した科目）については成績の評価及び単位の認定に関する規程に従って再評価を実施する。

⑤社会調査士課程

社会調査士とは、社会調査の知識や技術を用いて、人々の考え方や行動、マーケットの動きなどを読み解く「調査のエキスパート」であり、一般社団法人社会調査協会が認定する資格である。同協会は、社会調査士資格制度に参加する240以上の大学・学部等の教育組織と協力関係を構築し、日本社会学会、日本教育社会学会、日本行動計量学会等の学術団体と密接な連携をはかりながら活動している。

社会調査士課程は協会の定めるカリキュラムに準拠し、資格取得のための必修6科目および選択2科目を修得しなければならない。なお、必修科目のうち「社会調査入門」は学部共通専門科目、「社会調査法」は全学共通科目として開講する。

別表7 社会調査士に関する科目

協会の定めるカリキュラム	本学開講科目	必修 単位	選択 単位	履修 年次	備 考
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査入門	2		1・2	* =いずれか 1科目を選択必修
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法	2		1・2	
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	データの読み方	2		1・2	
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	社会統計学	2		1・2	
【E】多変量解析の方法に関する科目	多変量解析の基礎*	2		3・4	
【F】質的な調査と分析の方法に関する科目	質的調査法*	2		3・4	
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目	社会調査実習Ⅰ	2		3・4	
	社会調査実習Ⅱ	2		3・4	

- (注) 1. 科目の履修順序に決まりはないが、A科目の「社会調査入門」から始めると、段階的に理解を進めることができる。
2. G科目の「社会調査実習Ⅰ」と「社会調査実習Ⅱ」は、同じ教員が担当するクラスを履修すること。ⅠとⅡをセット履修することが資格取得の要件である。また、G科目は授業時間外の作業が多く、秋学期末は報告書を作成するので、就職活動や卒業論文作成との兼ね合いを考慮し、履修時期を決めることが望ましい。
3. 3年次の6月と10月に社会調査士（キャンディデイト）資格申請ができる。申請時までA～Gに対応した科目から3科目以上の単位を取得し、かつ、3年次に履修中の科目を合計すると5科目以上になることが申請要件で、資格認定手数料が必要となる。
4. 社会調査士資格の取得は、卒業時となる。単位取得・卒業を証明する書類と、審査・認定手数料が必要となる。

